

医療機関におけるリハビリテーションの実態調査

報告書

2019 年 3 月

リハビリテーション専門職団体協議会

公益社団法人 日本理学療法士協会

一般社団法人 日本作業療法士協会

一般社団法人 日本言語聴覚士協会

医療機関におけるリハビリテーションの実態調査 集計結果

調査対象 日本理学療法士協会の会員が所属している医療機関から無作為抽出した
3,200 施設

回答期間 2018 年 12 月 17 日～2019 年 1 月 18 日

回 答 数 1,257

回 収 率 39.3%

目次

I. 施設概要

p 1

- ①回答施設の所在県
- ②リハビリテーション専門職の人数
- ③リハビリテーションにかかる施設基準の届け出または算定しているリハビリテーション料等
- ④病床数
- ⑤一般病棟以外で有する病棟
- ⑥併設施設

II. 病棟ごとの状況、生活機能向上連携加算、がん患者へのリハビリテーション

p 8

- 1. 急性期病棟、回復期リハ病棟、地域包括ケア病棟における病棟配属者または専従者の比較
 - ①病棟配属または専従者 1 名の 1 日当たりの取得単位数
 - ②病棟配属または専従者 1 名の 1 日当たりの実施人数
 - ③病棟配属または専従者の経験年数
 - ④病棟配属または専従者の選定理由、選び方
- 2. 急性期病棟（地域一般入院料は除く）について
 - ①療法士の病棟配置
 - ②配属者の人数（平均、地域ごと）
 - ③病棟配属者 1 名の 1 日当たりの取得単位数、実施人数（平均、地域ごと）
 - ④病棟配属者の経験年数
 - ⑤病棟配属者の役割
 - ⑥病棟配属者の選定理由
 - ⑦ADL 維持向上等体制加算の算定有無
 - ⑧算定なしの理由
- 3. 回復期リハビリテーション病棟について
 - ①施設基準
 - ②専従者の職種と人数
 - ③専従者 1 名の 1 日当たりの取得単位数、実施人数（平均、地域ごと、施設基準ごと）
 - ④非専従者 1 名の 1 日当たりの取得単位数、実施人数
 - ⑤専従者の外来、訪問への関与
 - ⑥専従者の経験年数
 - ⑦病棟専従者の役割
 - ⑧病棟専従者の選定理由、選び方
- 4. 地域包括ケア病棟について
 - ①施設基準
 - ②専従者の職種と人数
 - ③専従者 1 名の 1 日当たりの取得単位数、実施人数（平均、施設基準ごと）
 - ④専従者の経験年数
 - ⑤病棟専従者の役割
 - ⑥病棟専従者の選定理由、選び方
- 5. 生活機能向上連携加算
 - ①生活機能向上連携加算を算定する施設へのリハ専門職の派遣
 - ②派遣先の施設区分
 - ③派遣先施設との関係
 - ④派遣していない理由
- 6. がん患者へのリハビリテーションについて

-
- ①がんが主病名の患者への外来リハの実施状況
 - ②実施していない理由
 - ③実施している場合の1回あたりの時間
 - ④がんが主病名の患者に対し、就労支援や職場との調整へのリハ専門職の関与

Ⅲ. 患者個票

p26

- ①年齢
 - ②疾患名
 - ③算定した疾患別リハビリテーション料
 - ④発症から退院した病棟への入棟までの日数
 - ⑤入棟からリハ開始までの日数
 - ⑥リハ開始から退院までの日数
 - ⑦転帰先
 - ⑧退院後のリハの状況
 - ⑨計画等の作成状況
 - ⑩リハビリテーションの提供単位（入棟時、退院時）
 - ⑪リハビリテーションの内容（開始時、終了時）
 - ⑫医療機関外でのリハビリテーションの実施（1）回数（2）1回あたり単位数（3）実施場所
 - ⑬入院時訪問指導加算（1）算定状況（2）訪問を実施した職種（3）算定なしの場合の理由
 - ⑭退院時家屋調査
 - ⑮退院時共同指導料2の算定
-

I . 施設概要

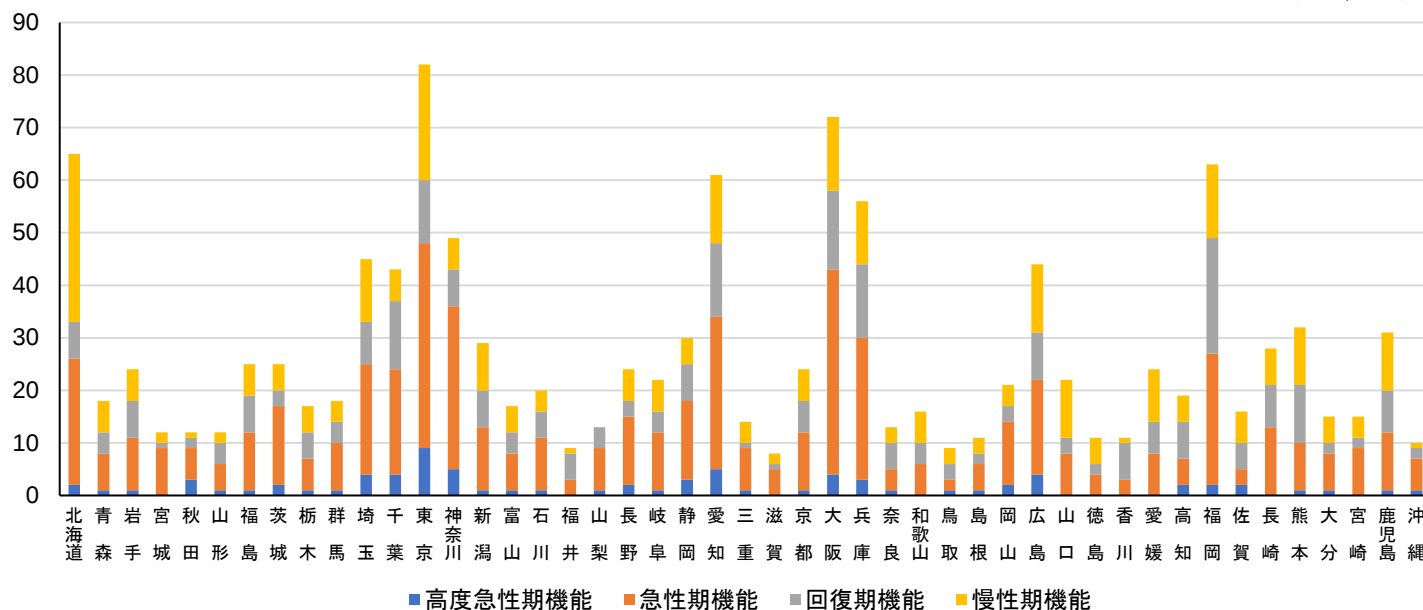
① 回答施設の所在県

	計	高度急性期機能	急性期機能	回復期機能	慢性期機能
北海道	65	2	24	7	32
青 森	18	1	7	4	6
岩 手	24	1	10	7	6
宮 城	12	0	9	1	2
秋 田	12	3	6	2	1
山 形	12	1	5	4	2
福 島	25	1	11	7	6
茨 城	25	2	15	3	5
栃 木	17	1	6	5	5
群 馬	18	1	9	4	4
埼 玉	45	4	21	8	12
千 葉	43	4	20	13	6
東 京	82	9	39	12	22
神奈川	49	5	31	7	6
新 潟	29	1	12	7	9
富 山	17	1	7	4	5
石 川	20	1	10	5	4
福 井	9	0	3	5	1
山 梨	13	1	8	4	0
長 野	24	2	13	3	6
岐 阜	22	1	11	4	6
静 岡	30	3	15	7	5
愛 知	61	5	29	14	13
三 重	14	1	8	1	4
滋 賀	8	0	5	1	2
京 都	24	1	11	6	6
大 阪	72	4	39	15	14
兵 庫	56	3	27	14	12
奈 良	13	1	4	5	3
和歌山	16	0	6	4	6
鳥 取	9	1	2	3	3
島 根	11	1	5	2	3
岡 山	21	2	12	3	4
広 島	44	4	18	9	13
山 口	22	0	8	3	11
徳 島	11	0	4	2	5
香 川	11	0	3	7	1
愛 媛	24	0	8	6	10
高 知	19	2	5	7	5
福 岡	63	2	25	22	14
佐 賀	16	2	3	5	6
長 崎	28	0	13	8	7
熊 本	32	1	9	11	11
大 分	15	1	7	2	5
宮 崎	15	0	9	2	4
鹿児島	31	1	11	8	11
沖 縄	10	1	6	2	1
計	1,257	78	569	285	325

(施設数)

所在県別施設数

(n=1,257)



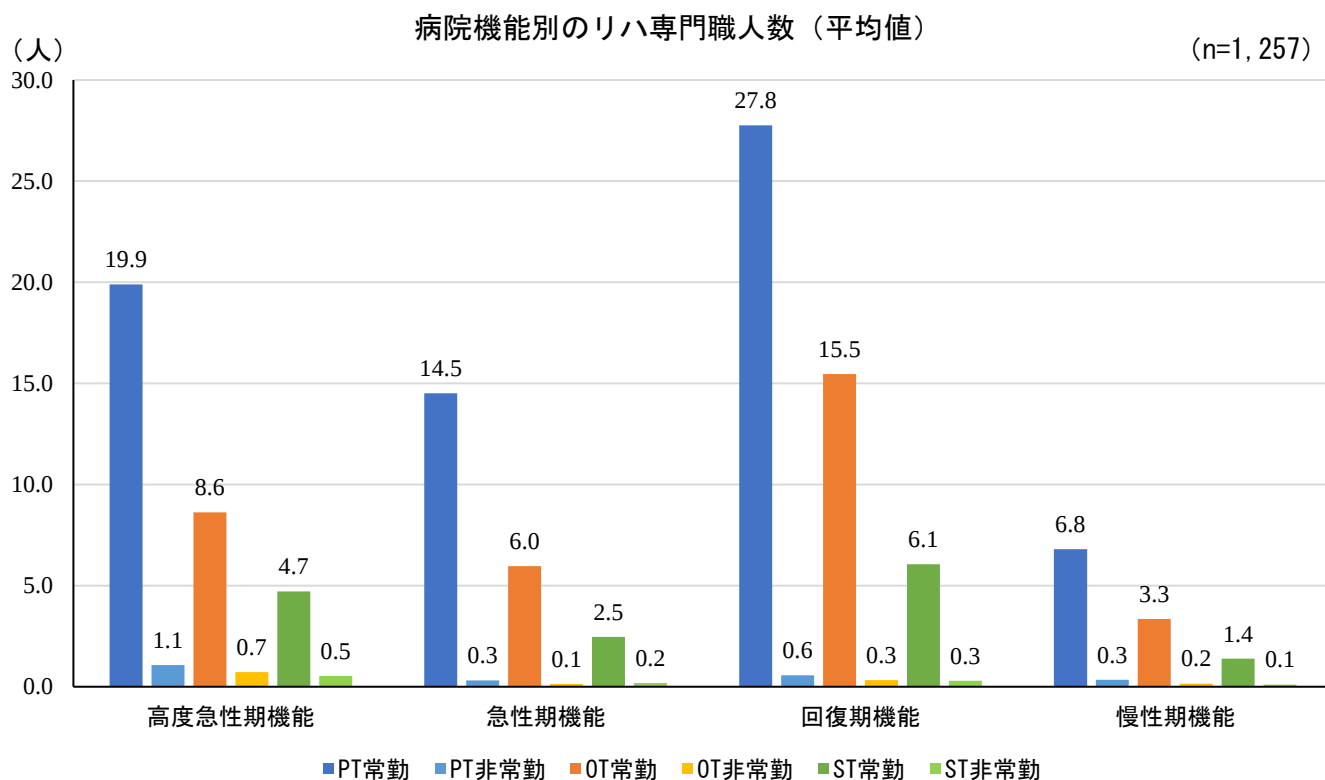
② リハビリテーション専門職の人数

全体

	PT		OT		ST	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
平均	15.9	0.4	7.6	0.2	3.1	0.2
中央値	10	0	4	0	2	0
最小	0	0	0	0	0	0
最大	128	21	70	19	34	27

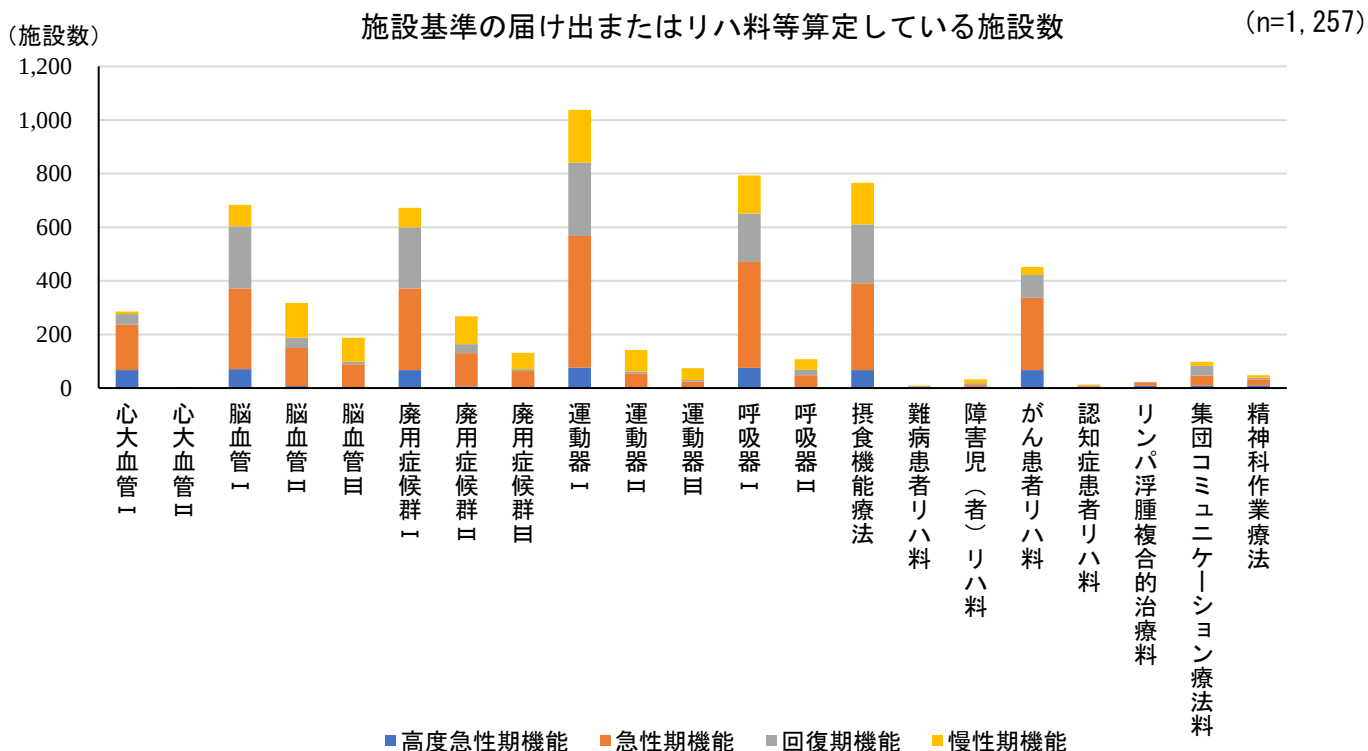
医療機能別集計

	高度急性期機能						急性期機能					
	PT		OT		ST		PT		OT		ST	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	非常勤	常勤	非常勤	非常勤	常勤	非常勤
平均	19.9	1.1	8.6	19.9	1.1	8.6	14.5	0.3	6.0	0.1	2.5	0.2
中央値	16	0	6	16	0	6	10	0	4	0	2	0
最小	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
最大	81	21	50	81	21	50	128	9	39	7	17	27
	回復期機能						慢性期機能					
	PT		OT		ST		PT		OT		ST	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	非常勤	常勤	非常勤
平均	27.8	0.6	15.5	0.3	6.1	0.3	6.8	0.3	3.3	0.2	1.4	0.1
中央値	24	0	13	0	5	0	4	0	2	0	0	0
最小	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
最大	95	12	70	3	34	9	57	11	52	4	19	5



③ リハビリテーションに係る施設基準の届け出またはリハビリテーション料等を算定している施設数

	計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
心大血管疾患リハビリテーション料Ⅰ	286	67	170	39	10
心大血管疾患リハビリテーション料Ⅱ	4	4	0	0	0
脳血管疾患等リハビリテーション料Ⅰ	683	70	301	232	80
脳血管疾患等リハビリテーション料Ⅱ	318	7	142	38	131
脳血管疾患等リハビリテーション料Ⅲ	187	0	88	10	89
廃用症候群リハビリテーション料Ⅰ	672	67	304	228	73
廃用症候群リハビリテーション料Ⅱ	268	6	124	34	104
廃用症候群リハビリテーション料Ⅲ	131	0	63	7	61
運動器リハビリテーション料Ⅰ	1,038	76	491	274	197
運動器リハビリテーション料Ⅱ	142	2	53	7	80
運動器リハビリテーション料Ⅲ	74	1	23	6	44
呼吸器リハビリテーション料Ⅰ	793	75	395	181	142
呼吸器リハビリテーション料Ⅱ	108	0	48	20	40
摂食機能療法	765	67	323	220	155
難病患者リハビリテーション料	10	1	4	2	3
障害児（者）リハビリテーション料	32	2	9	7	14
がん患者リハビリテーション料	451	67	270	85	29
認知症患者リハビリテーション料	13	2	5	3	3
リンパ浮腫複合的治療料	23	9	13	1	0
集団コミュニケーション療法料	98	10	37	35	16
精神科作業療法	48	10	22	6	10



④ 病床数

平均	124.9
中央値	150

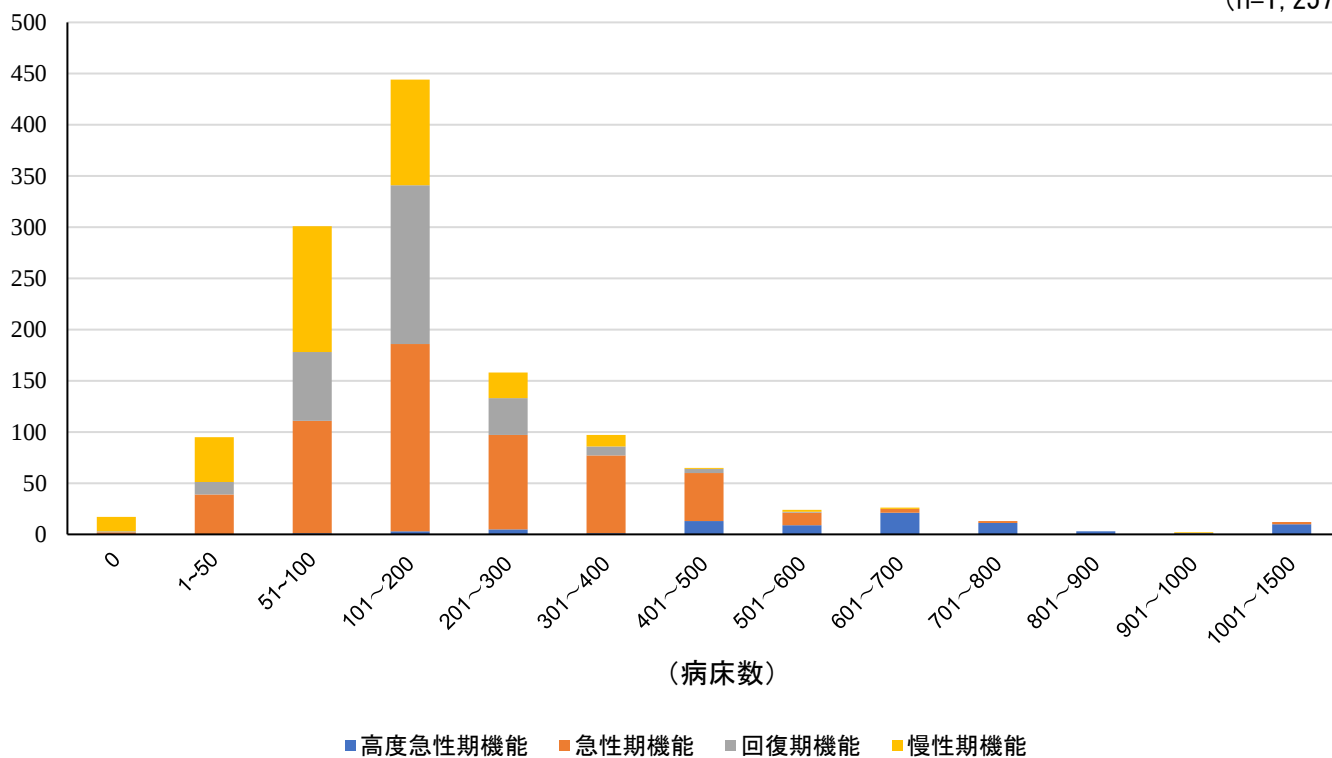
(病床数 医療機能毎)

病床数	計	高度急性期機能	急性期機能	回復期機能	慢性期機能
0	17	0	2	1	14
1～50	95	0	39	12	44
51～100	301	1	110	67	123
101～200	444	3	183	155	103
201～300	158	5	92	36	25
301～400	97	1	76	9	11
401～500	65	13	47	4	1
501～600	24	9	12	1	2
601～700	26	21	4	0	1
701～800	13	11	2	0	0
801～900	3	3	0	0	0
901～1,000	2	1	0	0	1
1,001～1,500	12	10	2	0	0

(施設数)

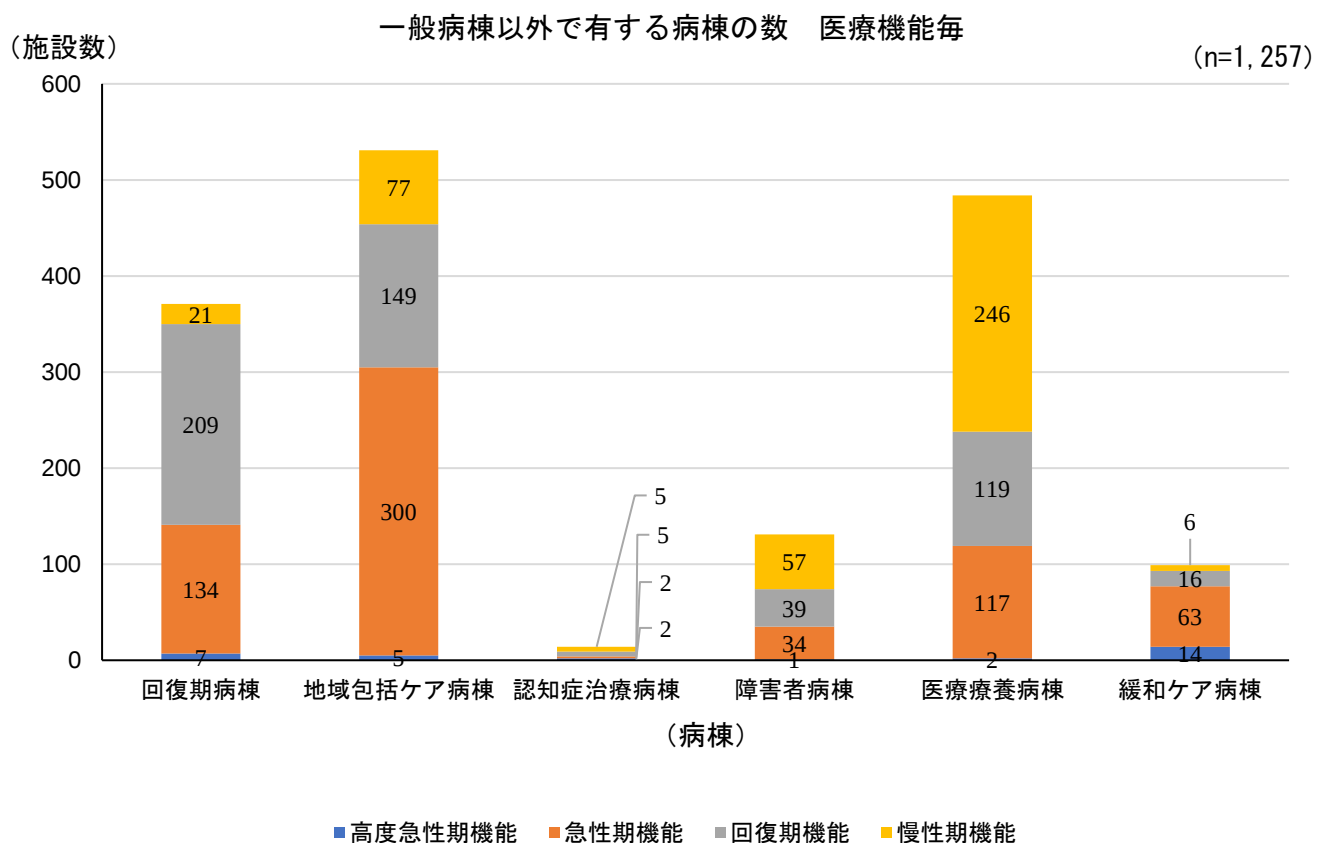
病床数 医療機能毎

(n=1,257)



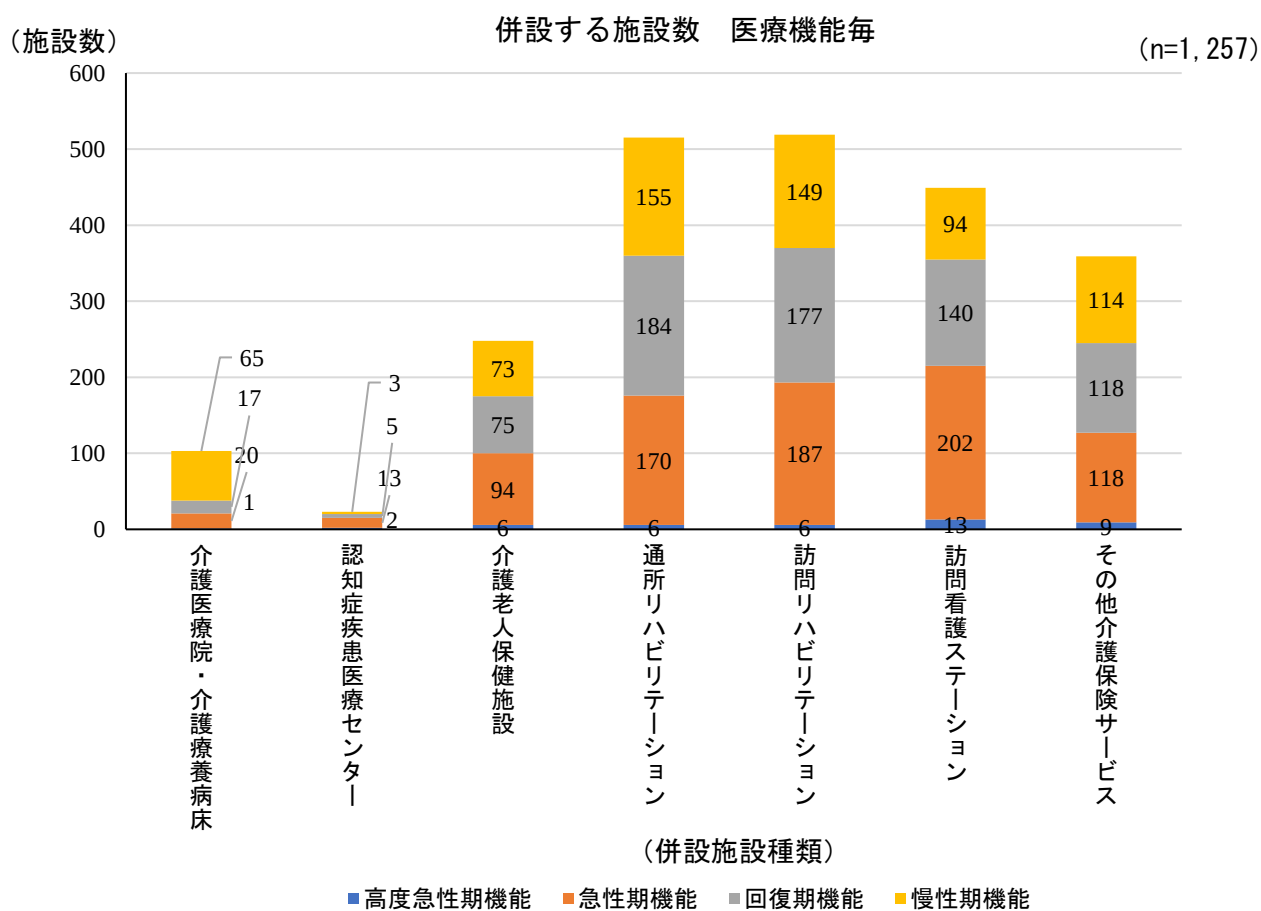
⑤ 一般病棟以外で有する病棟

	計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
1) 回復期病棟	371	7	134	209	21
2) 地域包括ケア病棟	531	5	300	149	77
3) 認知症治療病棟	14	2	2	5	5
4) 障害者病棟	131	1	34	39	57
5) 医療療養病棟	484	2	117	119	246
6) 緩和ケア病棟	99	14	63	16	6



⑥ 併設施設

	計	高度急性期機能	急性期機能	回復期機能	慢性期機能
1) 介護医療院・介護療養病床	103	1	20	17	65
2) 認知症疾患医療センター	23	2	13	5	3
3) 介護老人保健施設	248	6	94	75	73
4) 通所リハビリテーション	515	6	170	184	155
5) 訪問リハビリテーション	519	6	187	177	149
6) 訪問看護ステーション	449	13	202	140	94
7) その他介護保険サービス	359	9	118	118	114



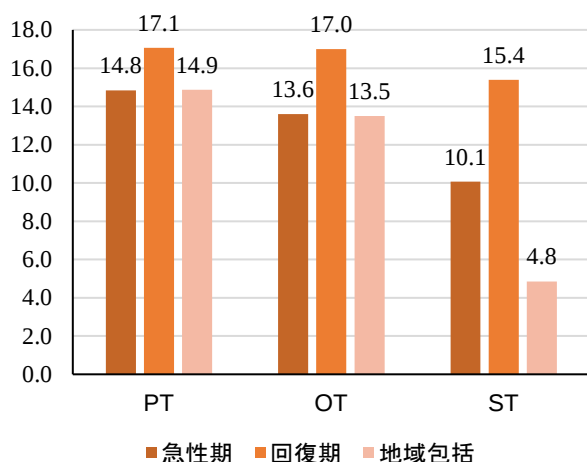
Ⅱ. 病棟ごとの状況、生活機能向上連携加算、がん患者へのリハビリテーション

1. 急性期病棟、回復期リハ病棟、地域包括ケア病棟における病棟配属者または専従者の比較

① 病棟配属または専従者1名の1日当たりの取得単位数（平均）

	PT	OT	ST
急性期	14.8	13.6	10.1
回復期	17.1	17.0	15.4
地域包括	14.9	13.5	4.8

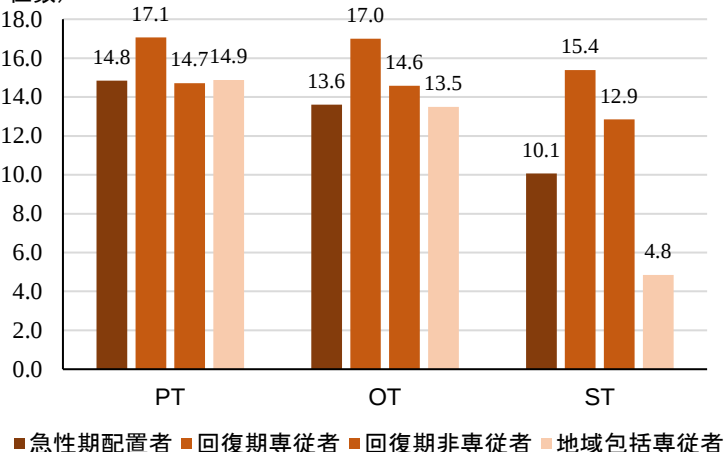
（単位数）



①' 病棟配属または専従者1名の1日当たりの取得単位数（配属または専従者、非専従者別、平均）

	PT	OT	ST
急性期配置者	14.8	13.6	10.1
回復期専従者	17.1	17.0	15.4
回復期非専従者	14.7	14.6	12.9
地域包括専従者	14.9	13.5	4.8

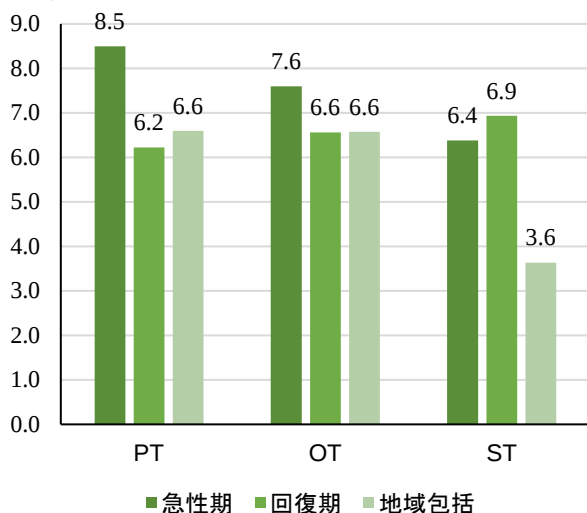
（単位数）



② 病棟配属または専従者1名の1日当たりの実施人数（平均）

	PT	OT	ST
急性期	8.5	7.6	6.4
回復期	6.2	6.6	6.9
地域包括	6.6	6.6	3.6

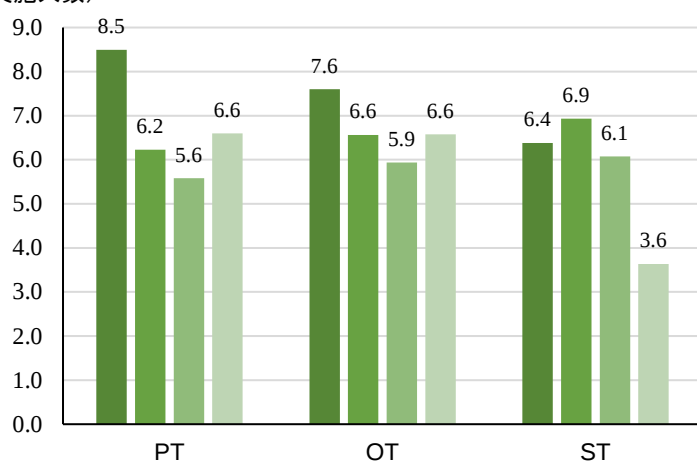
（実施人数）



②' 病棟配属または専従者1名の1日当たりの実施人数（配属または専従者、非専従者別、平均）

	PT	OT	ST
急性期配置者	8.5	7.6	6.4
回復期専従者	6.2	6.6	6.9
回復期非専従者	5.6	5.9	6.1
地域包括専従者	6.6	6.6	3.6

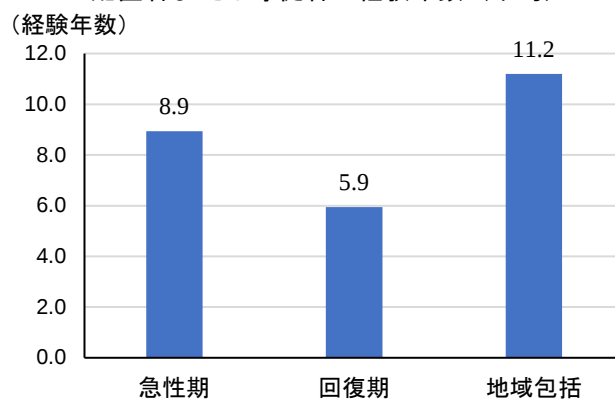
（実施人数）



③ 病棟配属または専従者の経験年数

	急性期	回復期	地域包括
平均	8.9	5.9	11.2
中央	8	5	10
最小	0	1	1
最大	40	26	38

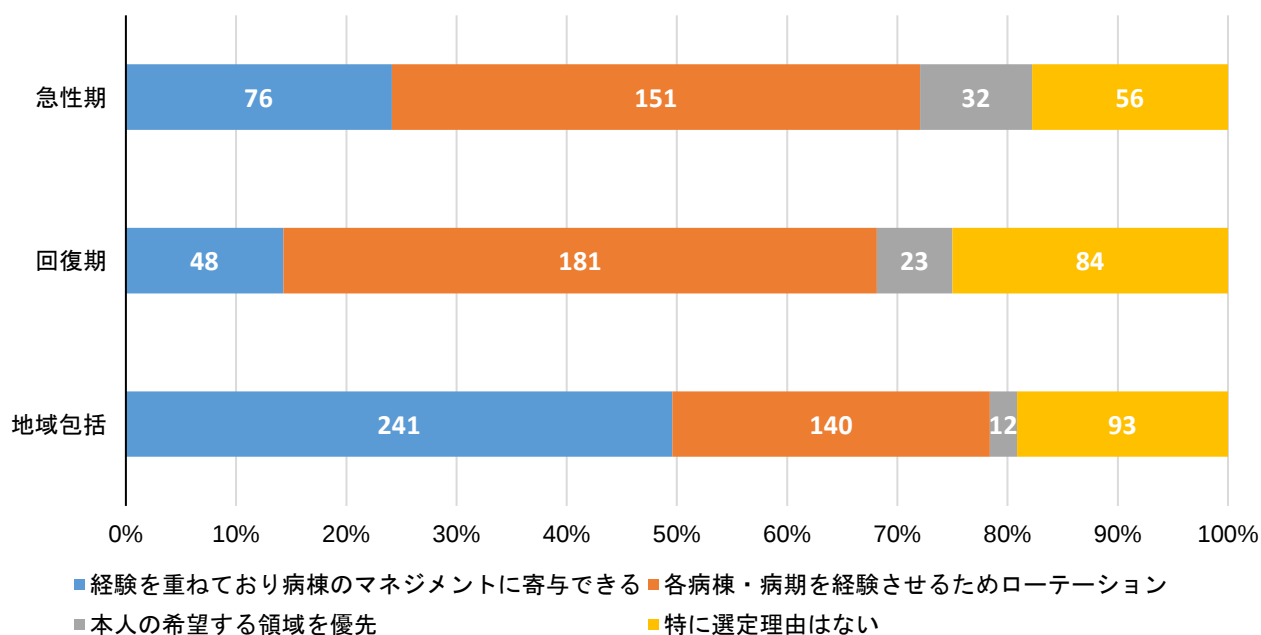
配置者または専従者の経験年数（平均）



④ 病棟配置者または専従者の選定理由、選び方（もっとも当てはまるもの1つを選択）

	急性期	回復期	地域包括
経験を重ねており病棟のマネジメントに寄与できる	76	48	241
各病棟・病期を経験させるためローテーションで配属	151	181	140
本人の希望する領域を優先	32	23	12
特に選定理由はない（回復期、地域包括では「届け出上必要なため」を含む）	56	84	93

病棟配置または専従の選定理由（割合）

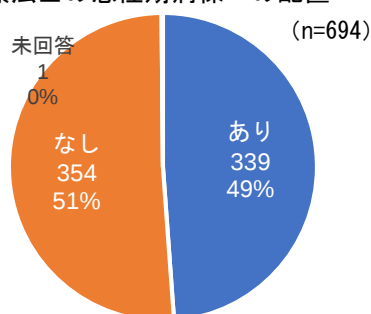


2. 急性期病棟（地域一般入院料は除く）について

急性期病棟有無

あり	694
なし	542
未回答	21

療法士の急性期病棟への配置



① 療法士の病棟配属

あり	339
なし	354
未回答	1

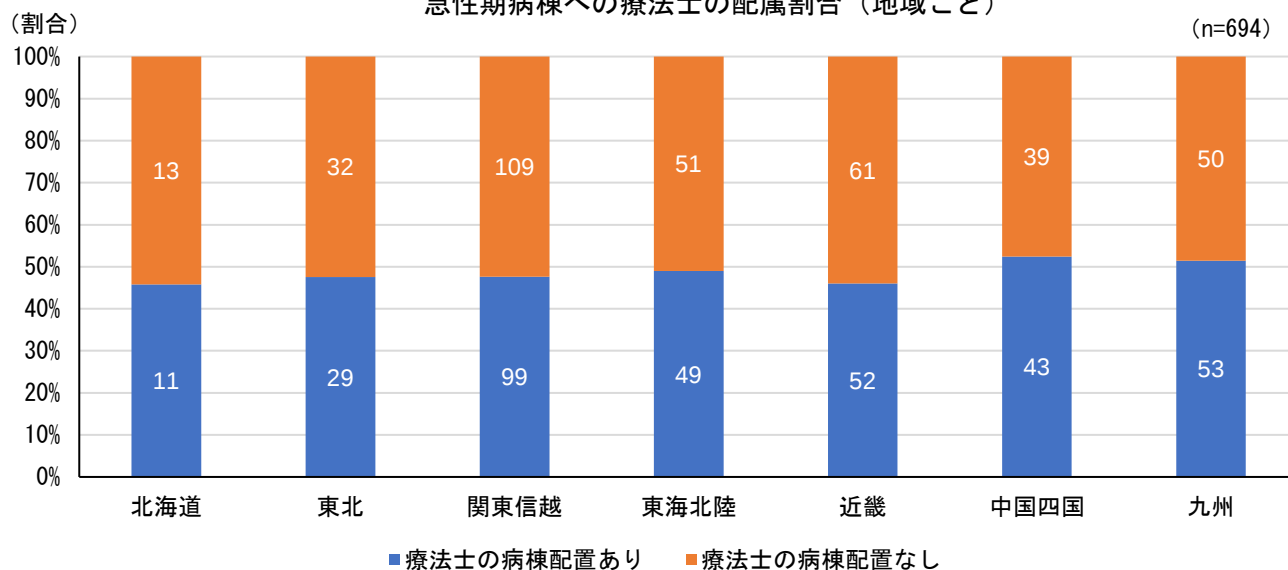
② 配属者の人数

	PT	OT	ST
平均	8.6	3.8	1.8
中央	6	3	1
最小	0	0	0
最大	77	32	15
未回答	11	17	28

② 全国地方厚生局管轄地域ごとの状況

	北海道	東北	関東信越	東海北陸	近畿	中国四国	九州
急性期病棟あり	24	61	208	100	113	82	103
うち療法士の病棟配属あり	11	29	99	49	52	43	53
配属割合	46%	48%	48%	49%	46%	52%	51%

急性期病棟への療法士の配属割合（地域ごと）

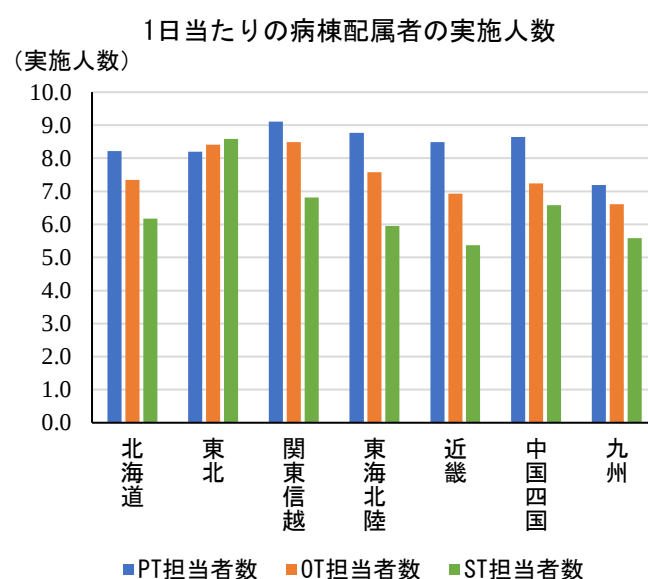
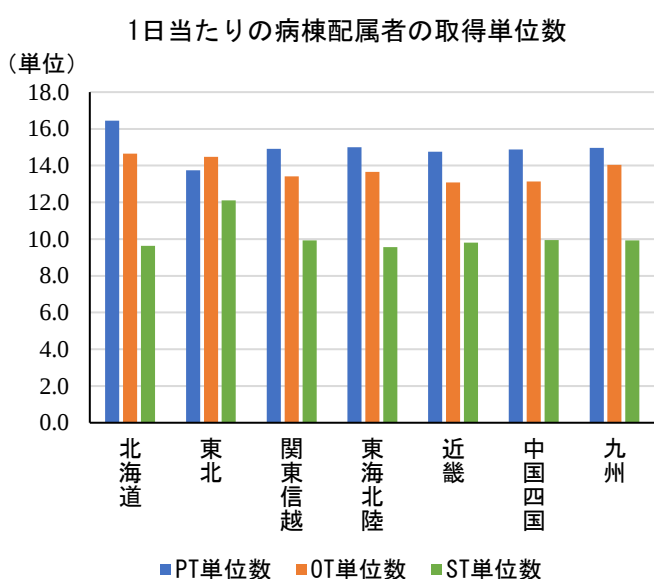


③ 病棟配属者1名の1日当たりの取得単位数、実施人数

	理学療法士		作業療法士		言語聴覚士	
	単位数	実施者数	単位数	実施者数	単位数	実施者数
回答数	297	293	264	262	239	239
平均	14.8	8.5	13.6	7.6	10.1	6.4
中央	16	8.2	15.5	8	11.3	6.8
最小	0	0	0	0	0	0
最大	21	21	21.4	19.8	21	20

③' 全国地方厚生局管轄地域ごとの状況

	理学療法士		作業療法士		言語聴覚士	
	単位数	実施者数	単位数	実施者数	単位数	実施者数
北海道	16.4	8.2	14.7	7.4	9.6	6.2
東北	13.7	8.2	14.5	8.4	12.1	8.6
関東信越	14.9	9.1	13.4	8.5	9.9	6.8
東海北陸	15.0	8.8	13.7	7.6	9.6	5.9
近畿	14.8	8.5	13.1	6.9	9.8	5.4
中国四国	14.9	8.6	13.1	7.2	9.9	6.6
九州	15.0	7.2	14.0	6.6	9.9	5.6



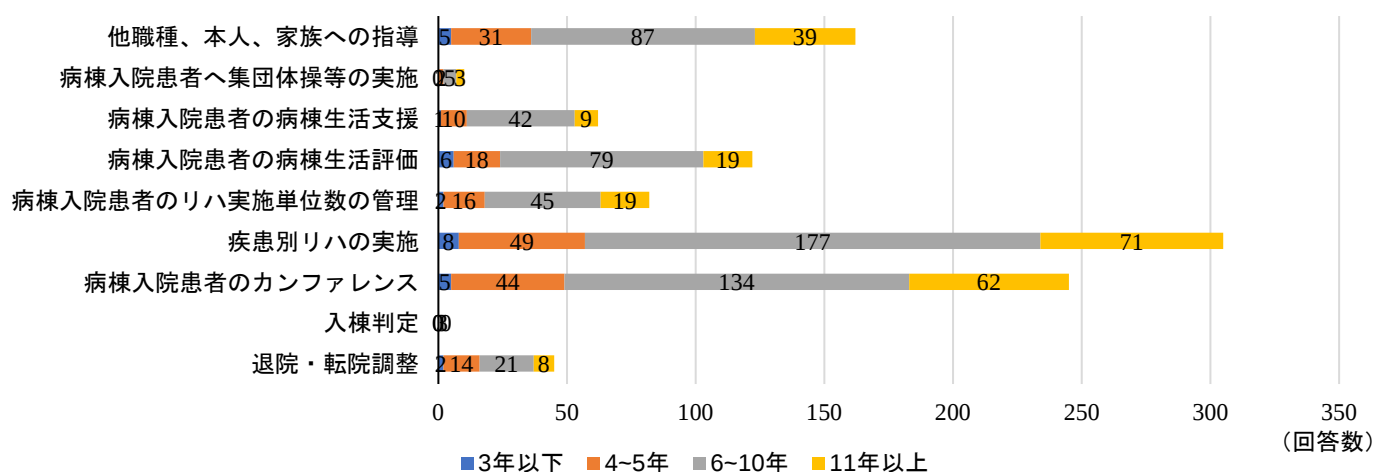
④ 病棟配属者の経験年数

平均	8.9
中央	8
最小	0
最大	40

⑤ 病棟配置者の役割（該当するものを3つまで選択）

	計	～3年	4～5年	6～10年	11年～
1) 退院・転院調整	45	2	14	21	8
2) 入棟判定	3	0	0	3	0
3) 当該病棟入院患者のカンファレンス	245	5	44	134	62
4) 疾患別リハビリテーションの実施	305	8	49	177	71
5) 当該病棟入院患者のリハビリテーション実施単位数の管理	82	2	16	45	19
6) 当該病棟入院患者の病棟生活評価	122	6	18	79	19
7) 当該病棟入院患者の病棟生活支援	62	1	10	42	9
8) 当該病棟入院患者へ集団体操等の実施	10	0	2	5	3
9) 他職種、本人、家族への指導	162	5	31	87	39

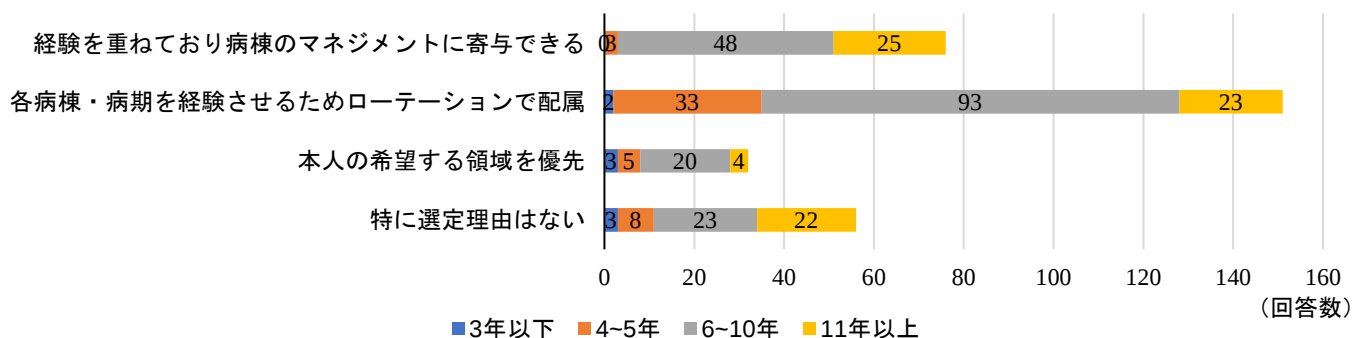
病棟配置者の役割（3つまで選択）



⑥ 病棟配属者の選定理由

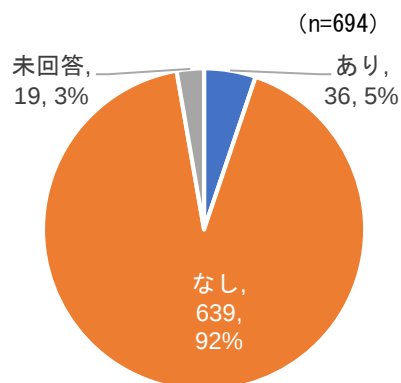
	～3年	4～5年	6～10年	11年～
1) 経験を重ねており病棟のマネジメントに寄与できる	0	3	48	25
2) 各病棟・病期を経験させるためローテーションで配属	2	33	93	23
3) 本人の希望する領域を優先	3	5	20	4
4) 特に選定理由はない	3	8	23	22

病棟配属者の選定理由



⑦ ADL維持向上等体制加算の算定

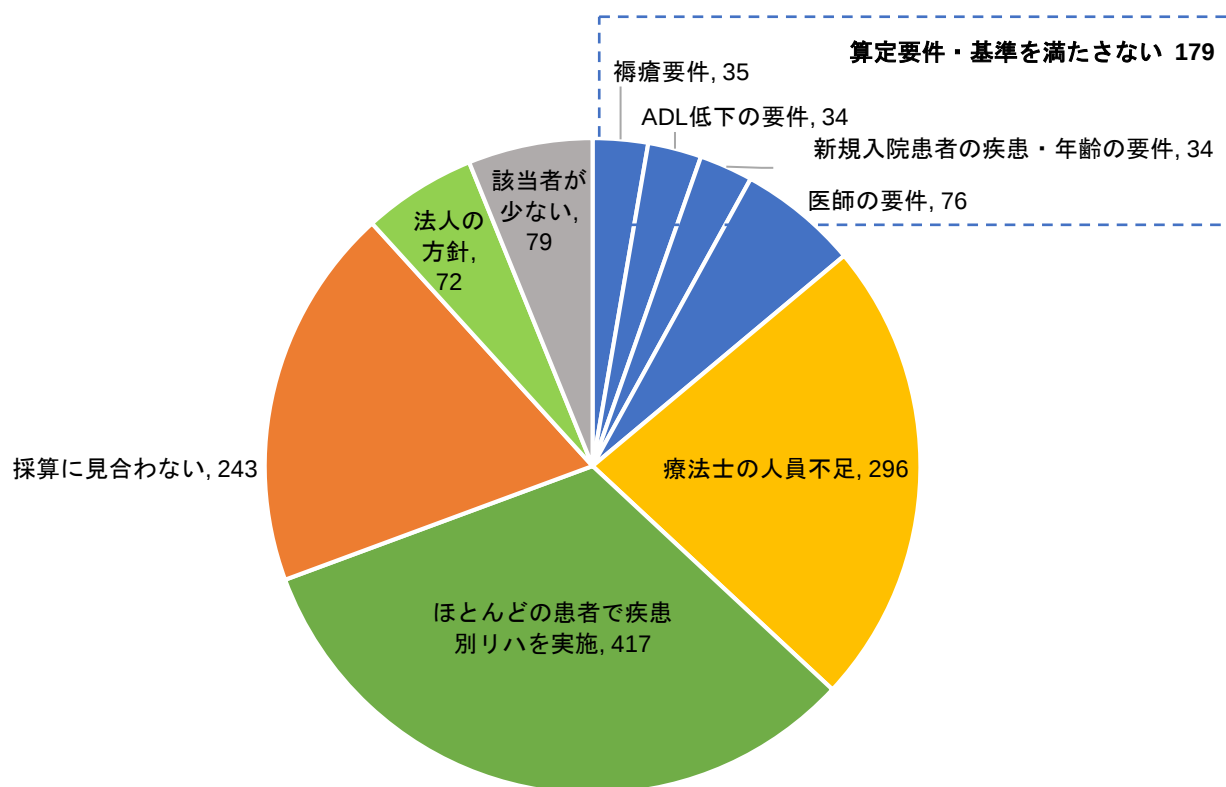
あり	36
なし	639
未回答	19



⑧ 算定なしの場合、その理由

1)-a) (算定要件・基準を満たさない) 褥瘡要件	35
1)-b) (算定要件・基準を満たさない) ADL低下の要件	34
1)-c) (算定要件・基準を満たさない) 新規入院患者の疾患・年齢の要件	34
1)-d) (算定要件・基準を満たさない) 医師の要件	76
2) 療法士の人員不足	296
3) ほとんどの患者で疾患別リハビリテーションを実施している	417
4) 採算に見合わない	243
5) 法人の方針	72
6) 該当者が少ない	79

ADL維持向上等体制加算算定なしの理由 (n=639、複数回答)



3. 回復期リハビリテーション病棟について

回復期リハビリテーション病棟有無

あり	370
なし	858
未回答	29

① 施設基準（複数回答）

	1	2	3	4	5	6
複数回答	182	60	102	24	9	9
単一回答のみ	171	51	87	20	8	5

② 専従者の職種と人数

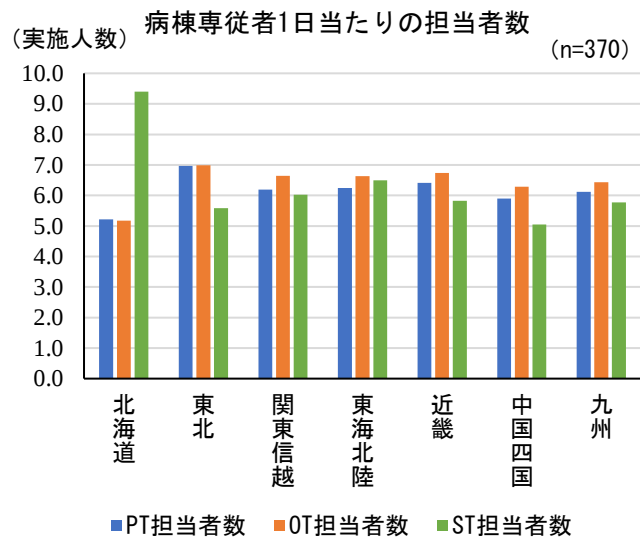
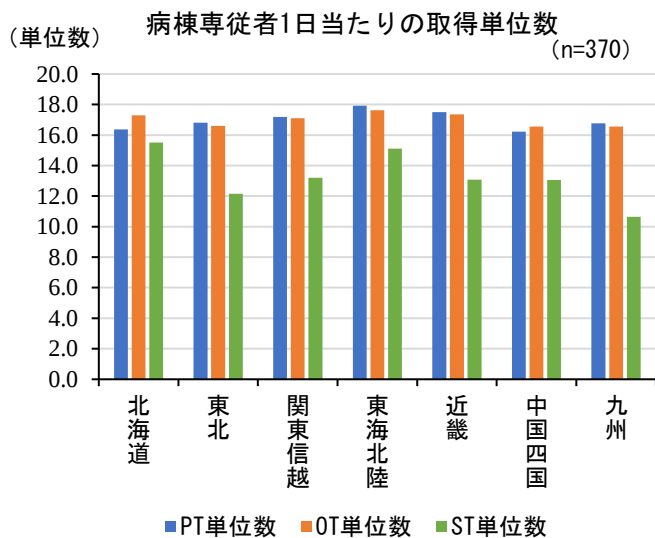
	PT	OT	ST
平均	7.5	4.7	1.7
中央	5	3	1
最小	0	0	0
最大	64	51	23
未回答	6	6	14

③ 専従者1名の1日当たりの取得単位数と実施人数

	理学療法士		作業療法士		言語聴覚士	
	単位数	実施者数	単位数	実施者数	単位数	実施者数
回答数	324	329	326	327	236	239
平均	17.1	6.2	17.0	6.6	15.4	6.9
中央	17.8	6	17.7	6.2	17	7
最小	3	2	3	1	0	0
最大	22	19	22	23	23	23.3

③' 全国地方厚生局管轄地域ごとの状況

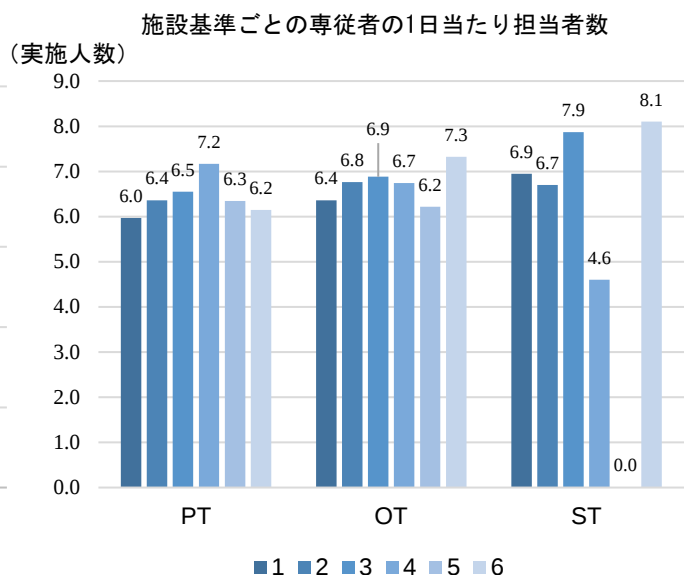
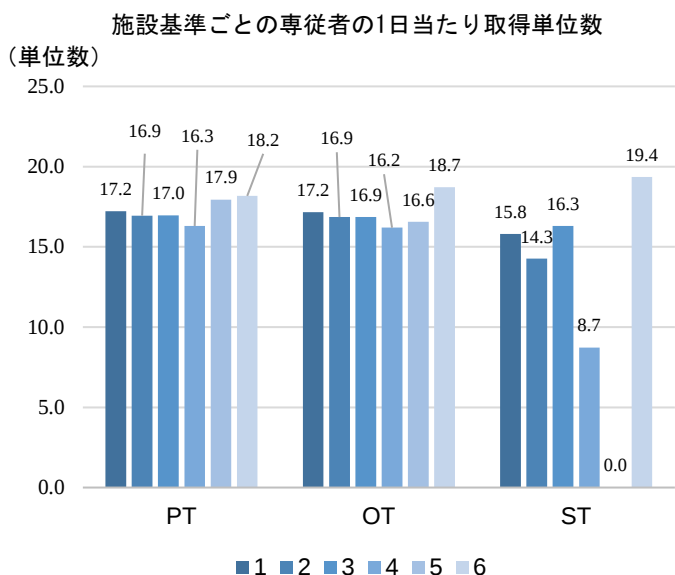
	理学療法士		作業療法士		言語聴覚士	
	単位数	実施者数	単位数	実施者数	単位数	実施者数
北海道	16.4	5.2	17.3	5.2	15.5	9.4
東北	16.8	7.0	16.6	7.0	12.1	5.6
関東信越	17.2	6.2	17.1	6.6	13.2	6.0
東海北陸	17.9	6.2	17.6	6.6	15.1	6.5
近畿	17.5	6.4	17.4	6.7	13.1	5.8
中国四国	16.2	5.9	16.6	6.3	13.0	5.0
九州	16.8	6.1	16.6	6.4	10.6	5.8



③” 施設基準毎の取得単位数と実施人数（施設基準の重複がないもののみで計算）

（1）平均

	理学療法士		作業療法士		言語聴覚士	
	単位数	実施者数	単位数	実施者数	単位数	実施者数
1	17.2	6.0	17.2	6.4	15.8	6.9
2	16.9	6.4	16.9	6.8	14.3	6.7
3	17.0	6.5	16.9	6.9	16.3	7.9
4	16.3	7.2	16.2	6.7	8.7	4.6
5	17.9	6.3	16.6	6.2	0.0	0.0
6	18.2	6.2	18.7	7.3	19.4	8.1



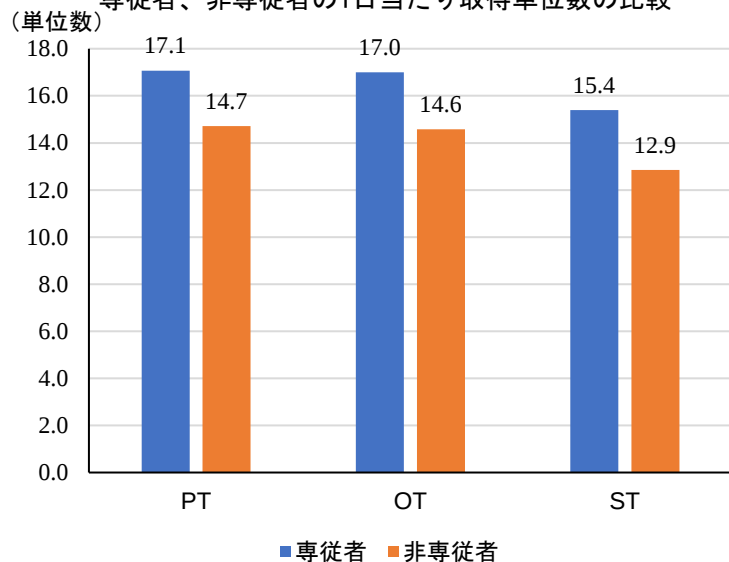
(2) 中央値

	理学療法士		作業療法士		言語聴覚士	
	単位数	実施者数	単位数	実施者数	単位数	実施者数
1	18.0	6.0	17.8	6.1	17.0	7.0
2	17.8	6.0	17.6	6.9	16.0	6.9
3	17.8	6.0	17.6	6.5	16.0	6.8
4	17.4	6.4	16.8	6.0	6.0	5.0
5	18.0	7.2	16.2	6.0	0.0	0.0
6	18.1	6.9	18.4	6.9	19.4	8.1

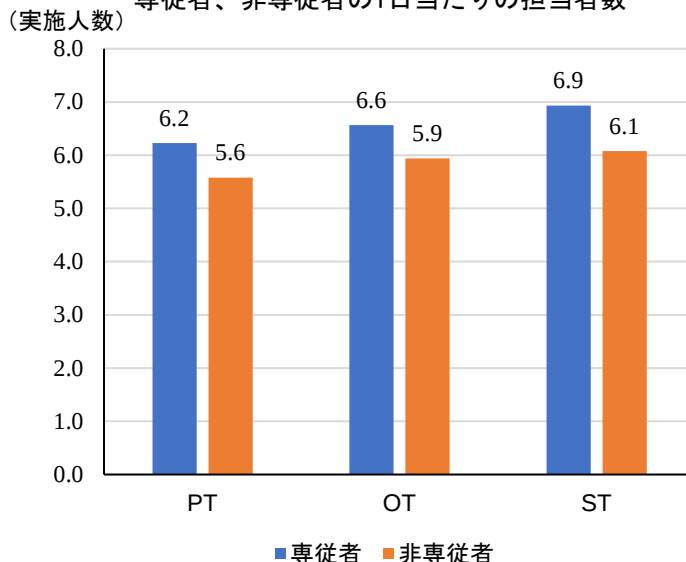
④ 非専従者1名の1日当たりの取得単位数、担当患者数

	理学療法士		作業療法士		言語聴覚士	
	単位数	担当者数	単位数	担当者数	単位数	担当者数
回答数	281	281	281	281	263	266
平均	14.7	5.6	14.6	5.9	12.9	6.1
中央	16.6	6.0	16.3	6.0	15.2	6.1
最小	0	0	0	0	0	0
最大	22	20	22	20	22	20

専従者、非専従者の1日当たり取得単位数の比較

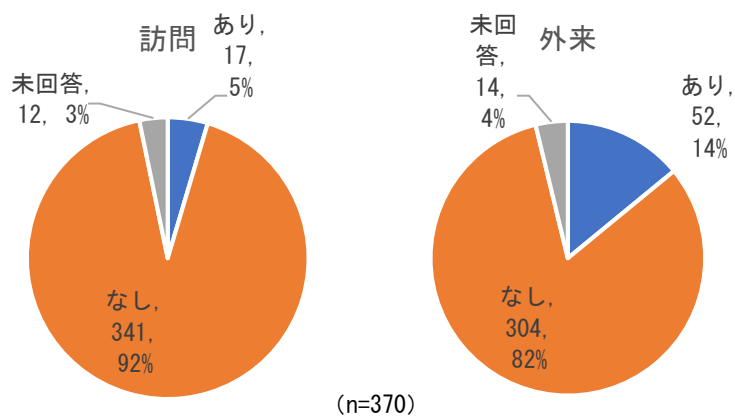


専従者、非専従者の1日当たりの担当患者数



⑤ 専従者の外来、訪問への関与

	訪問	外来
あり	17	52
なし	341	304
未回答	12	14



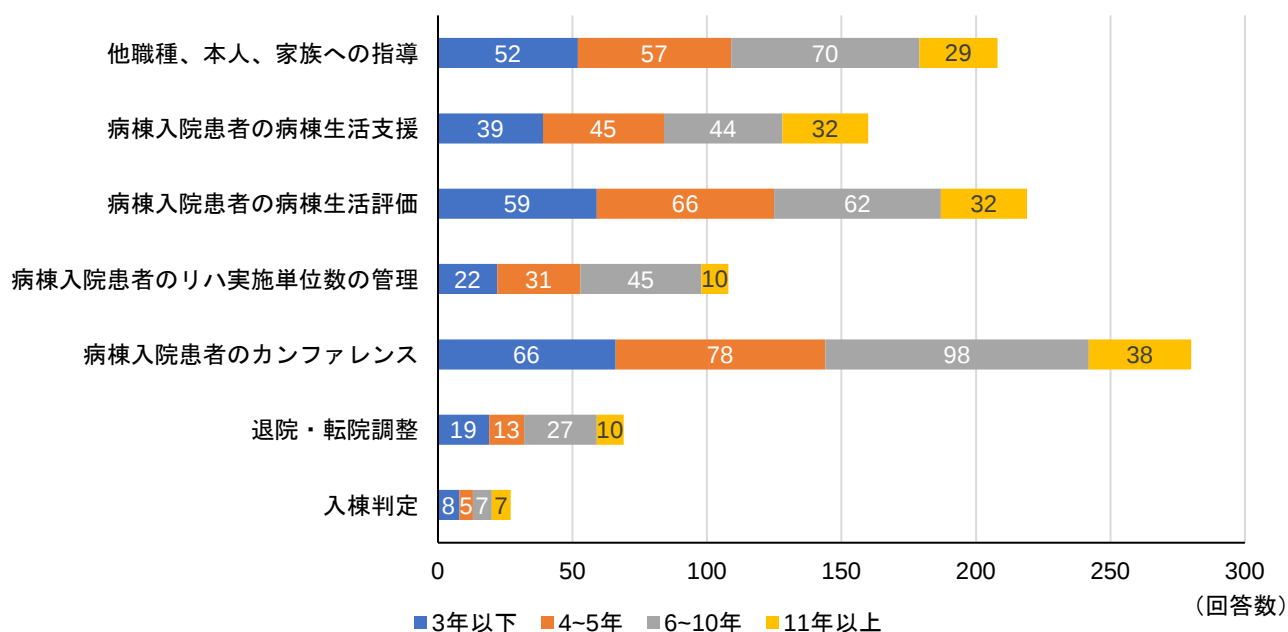
⑥ 専従者の経験年数

回答数	345
平均	5.9
中央	5
最小	1
最大	26

⑦ 病棟専従者の役割

	計	～3年	4～5年	6～10年	11年～
1) 入棟判定	27	8	5	7	7
2) 退院・転院調整	69	19	13	27	10
3) 当該病棟入院患者のカンファレンス	280	66	78	98	38
4) 当該病棟入院患者のリハビリテーション実施単位数の管理	108	22	31	45	10
5) 当該病棟入院患者の病棟生活評価	219	59	66	62	32
6) 当該病棟入院患者の病棟生活支援	160	39	45	44	32
7) 他職種、本人、家族への指導	208	52	57	70	29

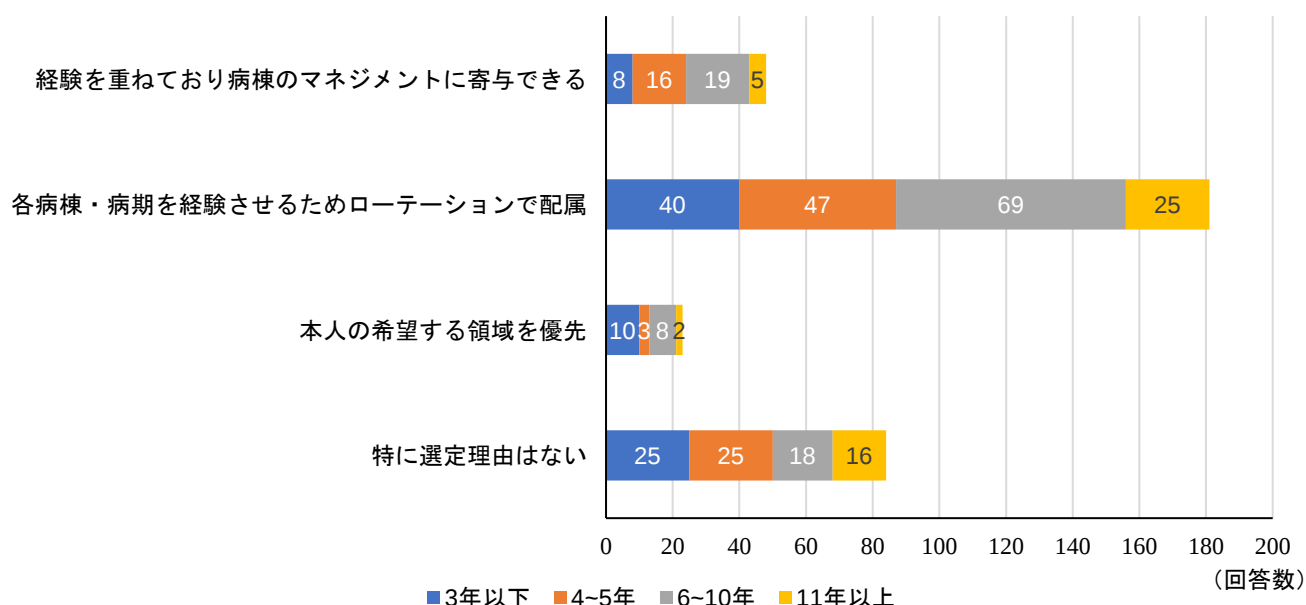
病棟専従者の役割（3つまで選択）



⑧ 専従の選定理由、選び方

	計	～3年	4～5年	6～10年	11年～
1) 経験を重ねており病棟のマネジメントに寄与できる	48	8	16	19	5
2) 各病棟・病期を経験させるためローテーションで配属	181	40	47	69	25
3) 本人の希望する領域を優先	23	10	3	8	2
4) 特に選定理由はない（届け出上必要なため）	84	25	25	18	16

専従者の選定理由



回復期リハ病棟専従者の選定理由、選び方について（その他）

- ・経験年数が少ない者を選んでいる
 - （理由）・他の病棟のフォローや委員会活動など他業務への関与がない
 - ・対象疾患に限られる
 - ・経験の浅いセラピストに、療養病棟や外来、訪問リハ、通所リハ等時期に応じた患者のリハビリテーションやマネジメントは難しいと感じている
 - ・回復過程や在宅復帰への支援を考えてマネジメントできるよう経験をさせるため
- ・365日シフトが組みやすい者を選んでいる
- ・しばらく異動がない者を選んでいる
- ・車の免許を持っていない等、入院時訪問指導の実施が難しい者をあてている
- ・経験年数の多い療法士ほど非専従とし他の業務（委員会など）に参加できる体制としている
- ・複数の回復期病棟があるため、専従者と病棟管理者は別になっている
- ・回復期リハ病棟チーム制としている
- ・専従には新人を主に配属し、質に関しては経験のある病棟非専従の療法士とペアにすることで担保している
- ・経験者はむしろ他部署も兼務して管理
- ・マネジメントはリーダーが行い新人を中心に編成している

4. 地域包括ケア病棟について

地域包括ケア病棟有無

あり	527
なし	695
未回答	35

① 施設基準（複数回答）

	1	2	3	4
複数回答	262	222	21	24
単一回答のみ	250	212	14	17

② 専従者の職種と人数

	PT	OT	ST
平均	1.15	0.35	0.04
中央	1	0	0
最小	0	0	0
最大	12	14	3
未回答	17	78	94

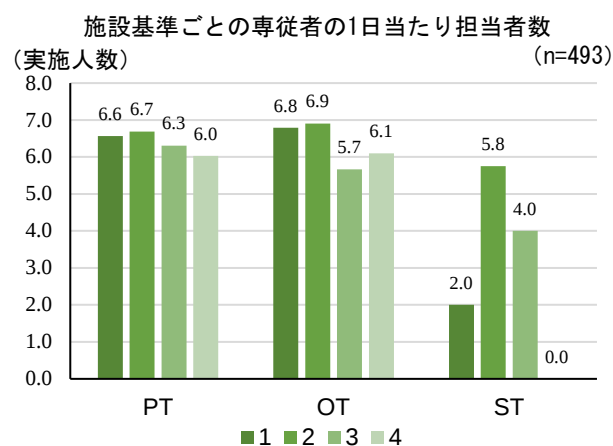
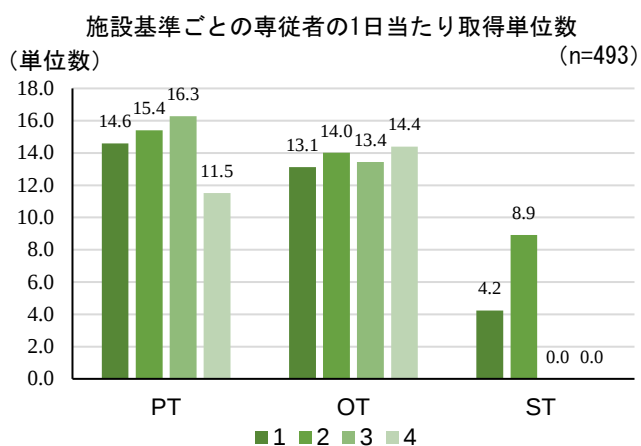
③ 専従者1名の1日当たりの取得単位数、実施者数

	理学療法士		作業療法士		言語聴覚士	
	単位数	実施者数	単位数	実施者数	単位数	実施者数
回答数	415	400	89	90	11	11
平均	14.9	6.6	13.5	6.6	4.8	3.6
中央	16.4	6.7	16.0	7.0	2.3	3.0
最小	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最大	22.0	22.0	20.4	22.0	17.4	10.0

③' 施設基準毎の取得単位数と実施人数（施設基準の重複がないもののみで計算）

（1）平均

	理学療法士		作業療法士		言語聴覚士	
	単位数	実施者数	単位数	実施者数	単位数	実施者数
1	14.6	6.6	13.1	6.8	4.2	2.0
2	15.4	6.7	14.0	6.9	8.9	5.8
3	16.3	6.3	13.4	5.7	0.0	4.0
4	11.5	6.0	14.4	6.1	-	-



(2) 中央値

	理学療法士		作業療法士		言語聴覚士	
	単位数	実施者数	単位数	実施者数	単位数	実施者数
1	16.4	6.6	14.8	7.0	4.0	2.0
2	16.9	7.0	16.7	7.0	8.2	6.0
3	16.5	6.0	15.0	5.0	0.0	4.0
4	12.9	4.2	14.4	6.1	-	-

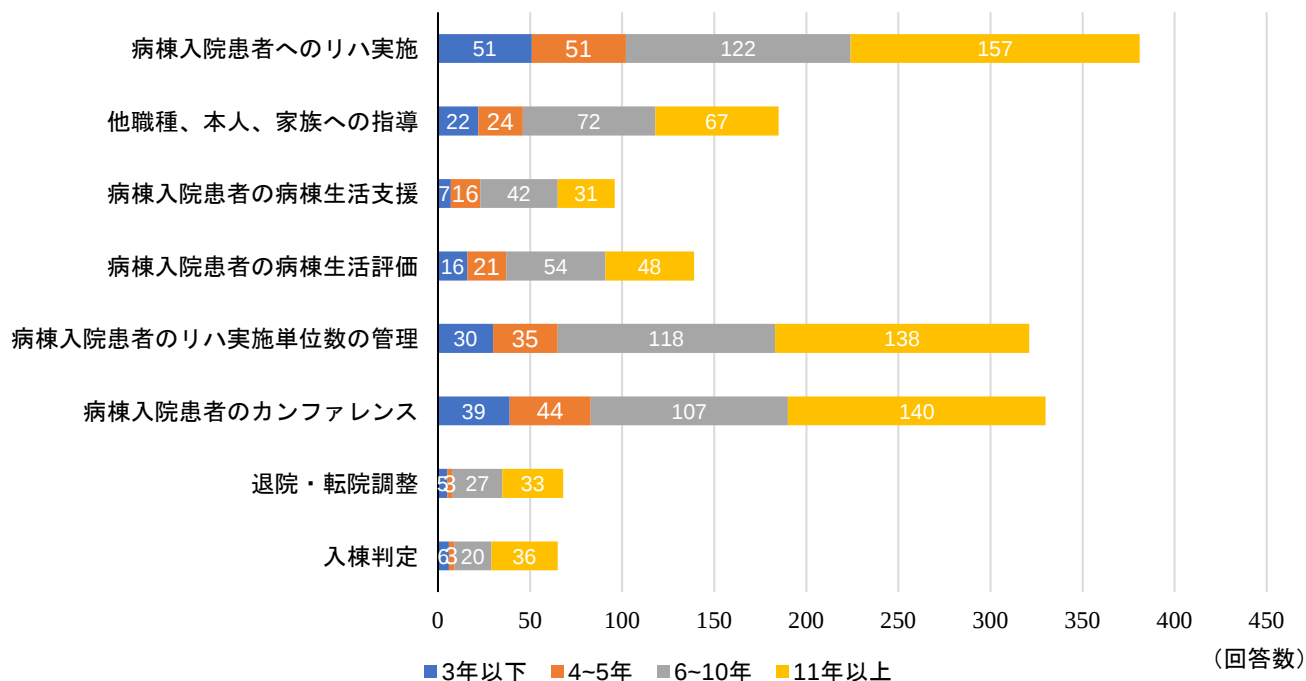
④ 専従者の経験年数

回答数	506
平均	11.2
中央	10
最小	1
最大	38

⑤ 病棟専従者の役割

	計	～3年	4～5年	6～10年	11年～
人数	506	60	68	169	209
1) 入棟判定	65	6	3	20	36
2) 退院・転院調整	68	5	3	27	33
3) 当該病棟入院患者のカンファレンス	330	39	44	107	140
4) 当該病棟入院患者のリハビリテーション実施単位の管理	321	30	35	118	138
5) 当該病棟入院患者の病棟生活評価	139	16	21	54	48
6) 当該病棟入院患者の病棟生活支援	96	7	16	42	31
7) 他職種、本人、家族への指導	185	22	24	72	67
8) 当該病棟入院患者へのリハビリテーションの実施	381	51	51	122	157

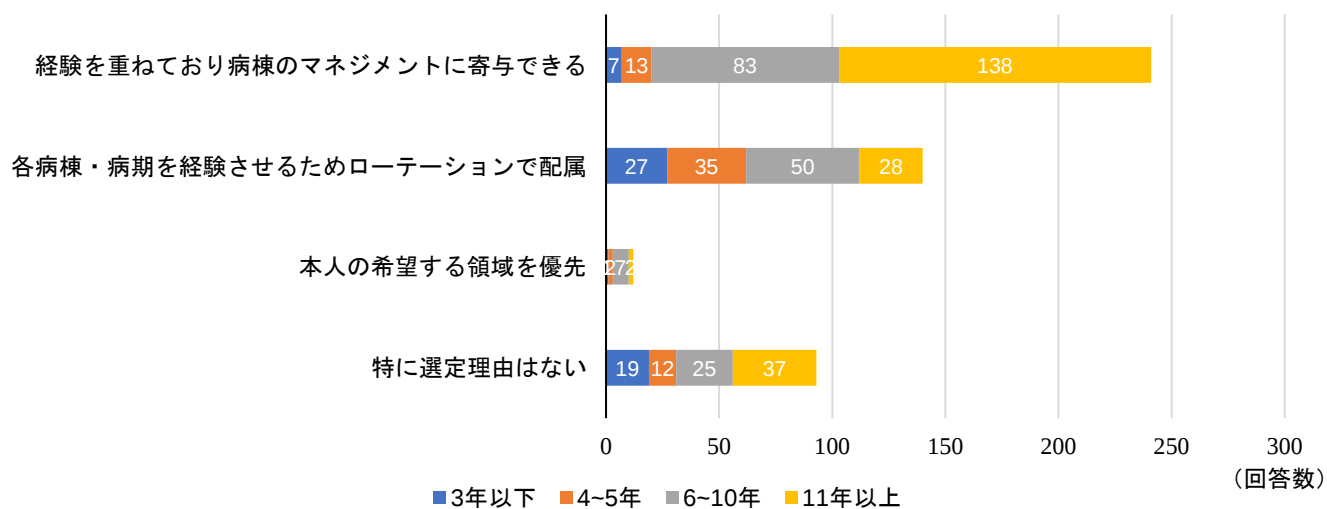
病棟専従者の役割



⑥ 専従の選定理由、選び方

	計	～3年	4～5年	6～10年	11年～
人数	506	60	68	169	209
1) 経験を重ねており病棟のマネジメントに寄与できる	241	7	13	83	138
2) 各病棟・病期を経験させるためローテーションで配属	140	27	35	50	28
3) 本人の希望する領域を優先	12	1	2	7	2
4) 特に選定理由はない（届け出上必要なため）	93	19	12	25	37

専従の選定理由、選び方



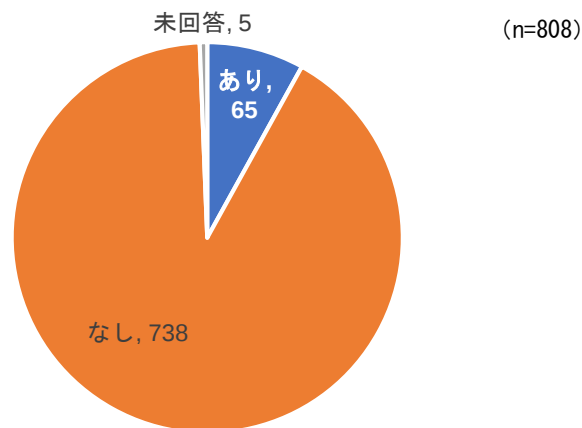
5. 生活機能向上連携加算（介護保険）

200 床未満	747
200 床以上で半径 4km 以内に診療所が存在しない	61
200 床以上で半径 4km 以内に診療所が存在する	235
未回答	214

① 生活機能向上連携加算を算定する施設へのリハ専門職の派遣

	高度急性期機能	急性期機能	回復期機能	慢性期機能	計
あり	0	12	31	22	65
なし	14	306	185	233	738
未回答	0	2	1	2	5

生活機能向上連携加算算定施設へのリハ専門職派遣

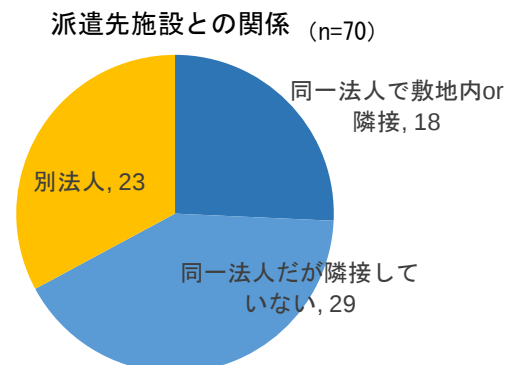


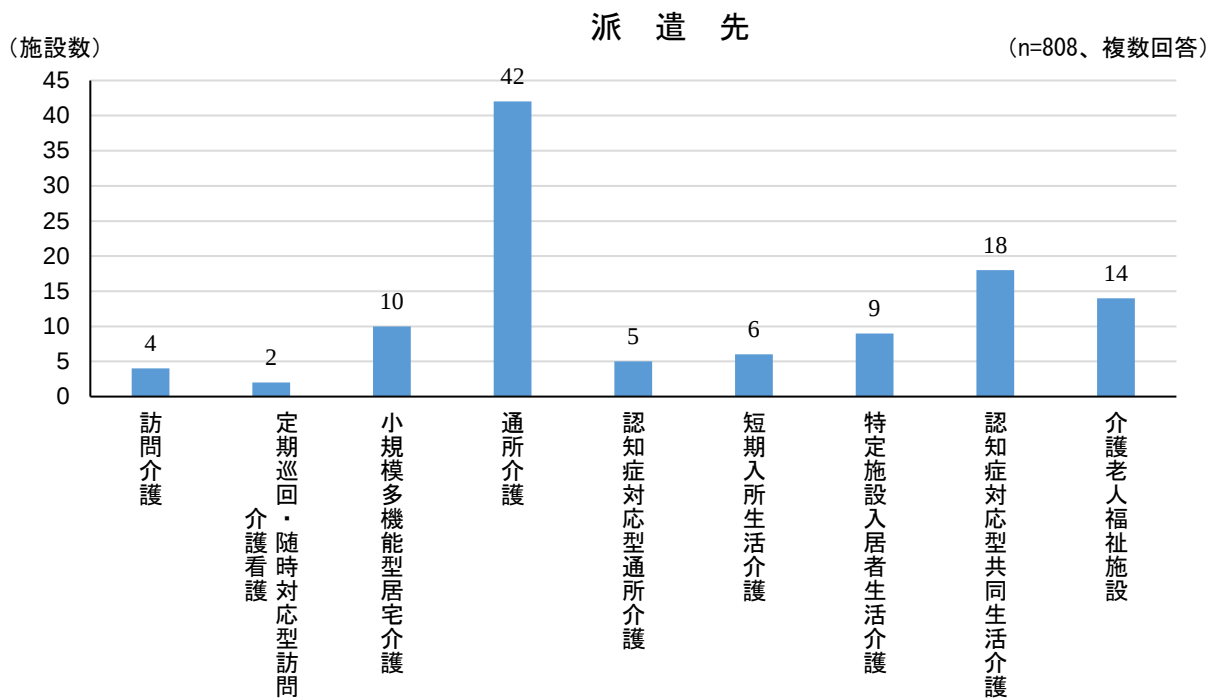
② 派遣先の施設区分

1) 訪問介護	4
2) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2
3) 小規模多機能型居宅介護	10
4) 通所介護	42
5) 認知症対応型通所介護	5
6) 短期入所生活介護	6
7) 特定施設入居者生活介護	9
8) 認知症対応型共同生活介護	18
9) 介護老人福祉施設	14

③ 派遣先施設との関係

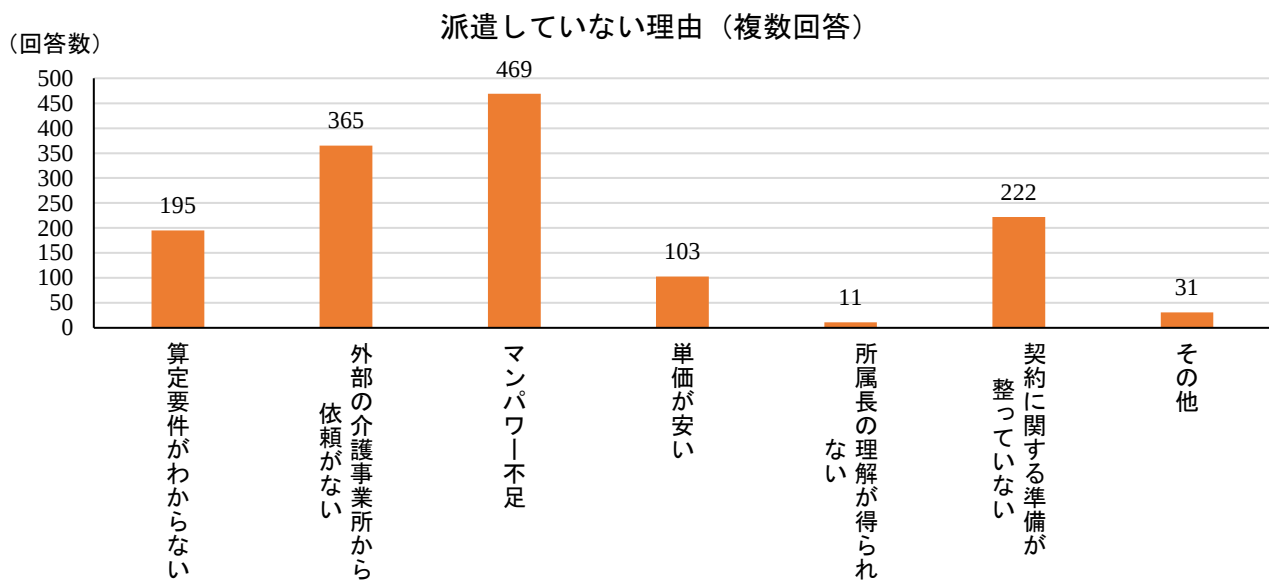
1) 同一法人かつ敷地内または隣接の施設	18
2) 同一法人だが隣接はしていない施設	29
3) 別法人	23





④ 派遣していない理由

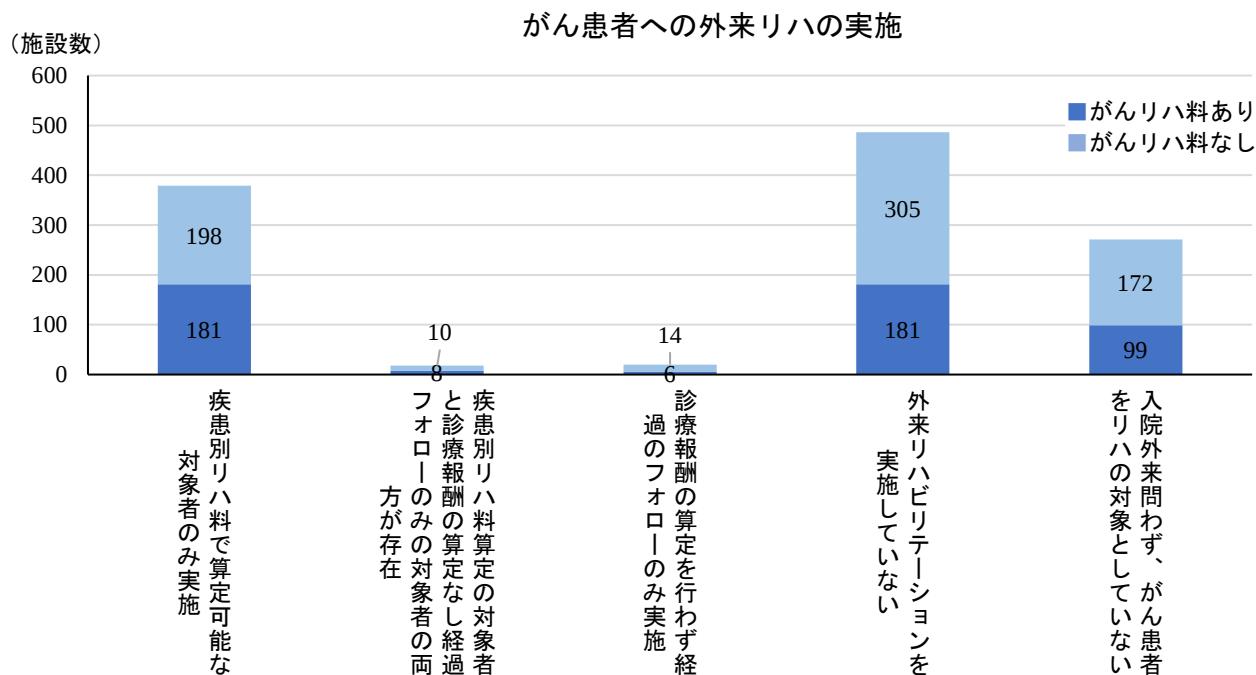
1) 加算についての算定要件がわからない	195
2) 外部の介護事業所から依頼がない	365
3) マンパワー不足（派遣する余裕なし）	469
4) 単価が安い	103
5) 所属長の理解が得られない	11
6) 契約に関する準備が整っていない	222
7) その他	31



6. がん患者へのリハビリテーションについて

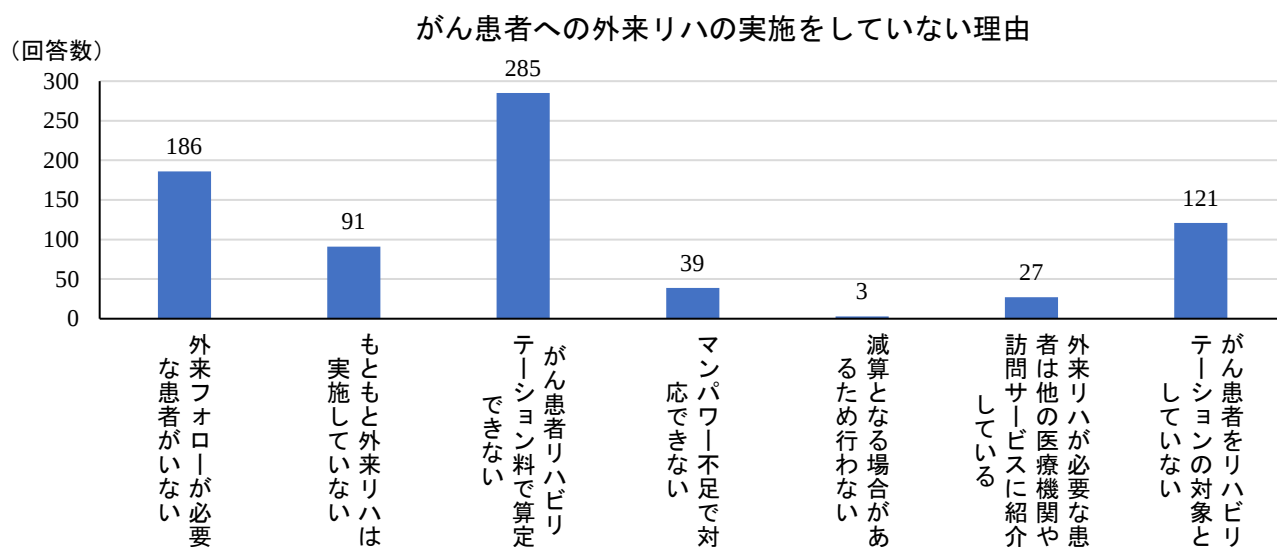
① がんが主病名の患者への外来リハの実施（ひとつ選択）

	計	がんリハ料あり	がんリハ料なし
1) 疾患別リハビリテーション料で算定可能な対象者のみ実施している	379	181	198
2) 実施しており、疾患別リハビリテーション料を算定している対象者と診療報酬の算定を行わず経過フォローのみ行っている対象者の両方が存在する	18	8	10
3) 診療報酬の算定を行わず経過のフォローのみ行っている	20	6	14
4) 外来リハビリテーションを実施していない	486	181	305
5) 入院外来問わず、がんが主病名の患者をリハビリテーションの対象としていない	271	99	172
(未回答)	83	-	-



② 実施していない理由

1) 外来フォローが必要な患者がいらない	186
2) もともと外来リハは実施していない	91
3) がん患者リハビリテーション料で算定できない	285
3) マンパワー不足で対応できない	39
4) 減算となる場合があるため行わない	3
5) 外来リハが必要な患者は他の医療機関や訪問サービスに紹介している	27
6) がん患者をリハビリテーションの対象としていない	121

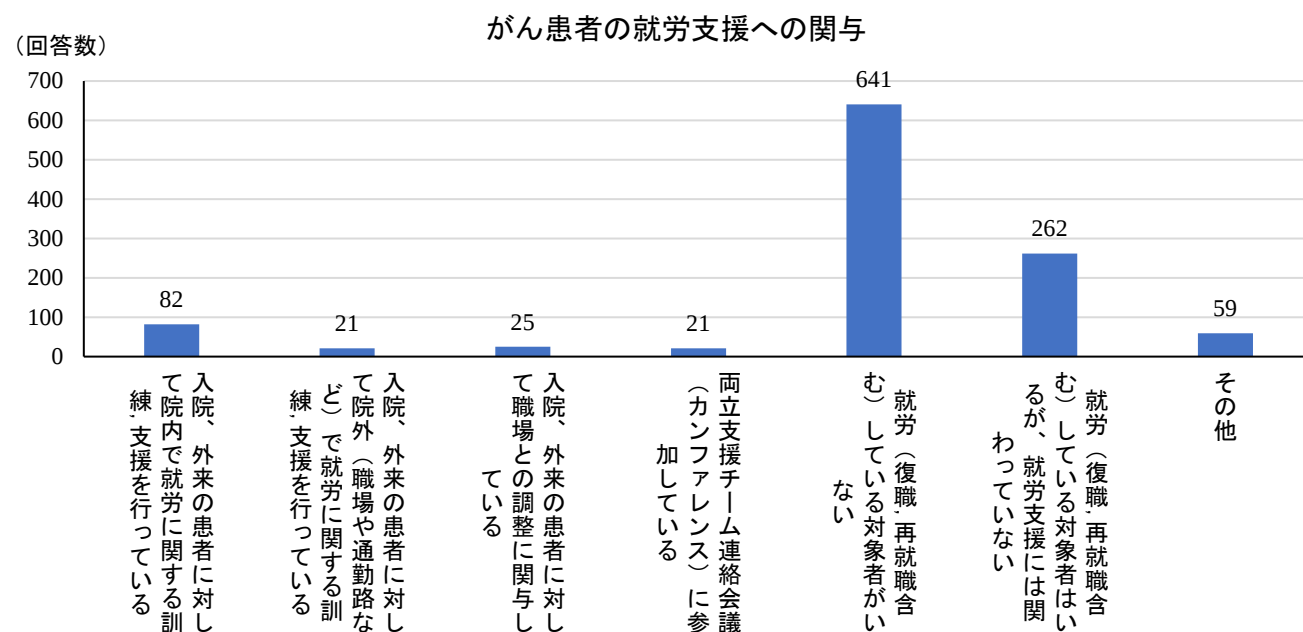


③ 実施している場合の1回あたりの時間

20分未満	20～40分未満	40～60分未満	その他
28	318	50	16

④ がんが主病名の患者に対し、就労支援や職場との調整にリハ専門職は関与しているか

1) 入院、外来の患者に対して院内で就労に関する訓練、支援を行っている	82
2) 入院、外来の患者に対して院外（職場や通勤路など）で就労に関する訓練、支援を行っている	21
3) 入院、外来の患者に対して職場との調整に関与している	25
4) 両立支援チーム連絡会議（カンファレンス）に参加している	21
5) 就労（復職、再就職含む）している対象者がいない	641
6) 就労（復職、再就職含む）している対象者はいるが、就労支援には関わっていない	262
7) その他	59

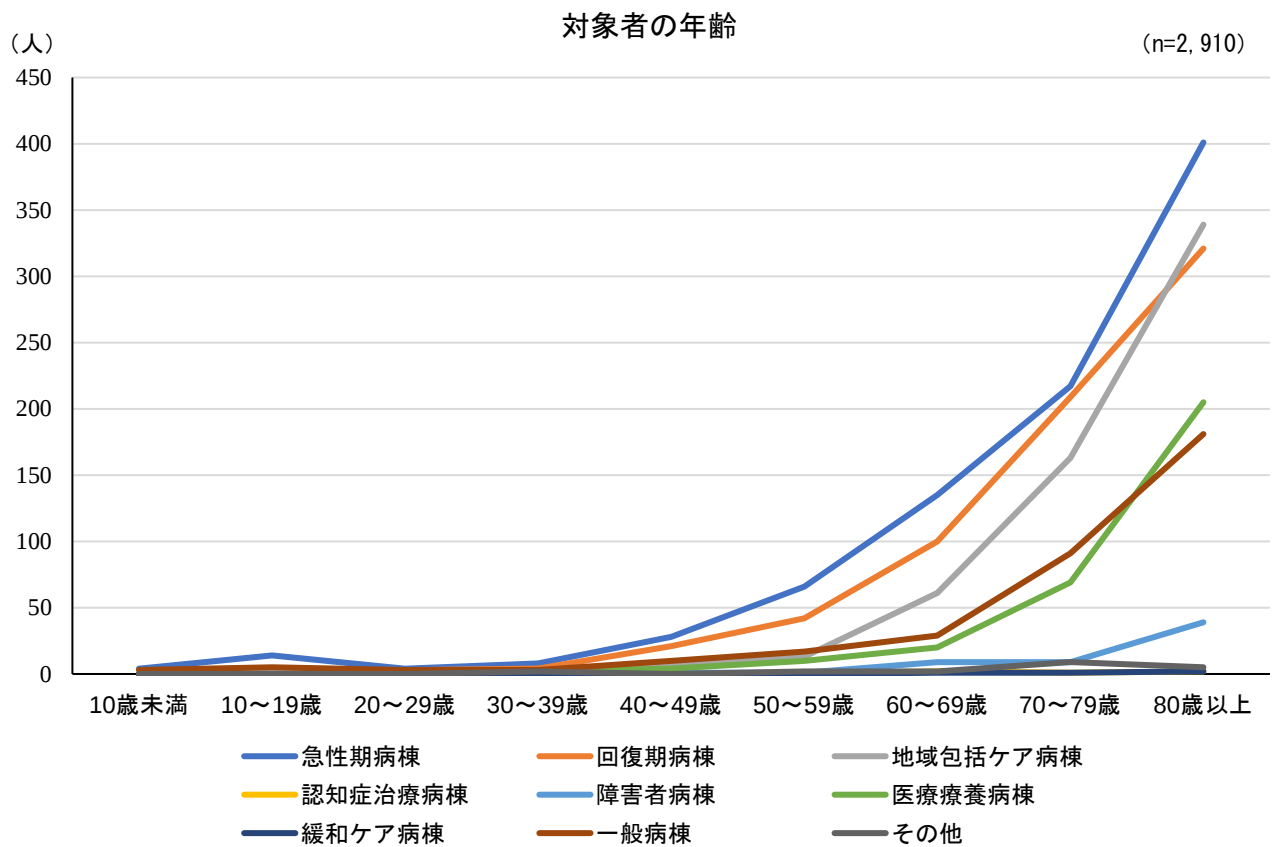


Ⅲ. 患者個票

回答数：2,918（調査日から直近の在宅または介護施設等へ退院した患者3名について回答）

① 年齢 × 退院時の病棟

	急性期病棟	回復期病棟	地域包括ケア病棟	認知症治療病棟	障害者病棟	医療療養病棟	緩和ケア病棟	一般病棟	その他
1) 10歳未満	4	0	0	0	0	0	0	3	0
2) 10～19歳	14	0	3	0	0	0	0	5	0
3) 20～29歳	4	3	3	0	0	1	0	3	0
4) 30～39歳	8	4	2	0	2	2	0	3	2
5) 40～49歳	28	21	6	0	1	4	0	10	0
6) 50～59歳	66	42	13	0	1	10	0	17	2
7) 60～69歳	135	100	61	2	9	20	1	29	2
8) 70～79歳	217	209	163	1	9	69	1	91	9
9) 80歳以上	401	321	339	2	39	205	2	181	5



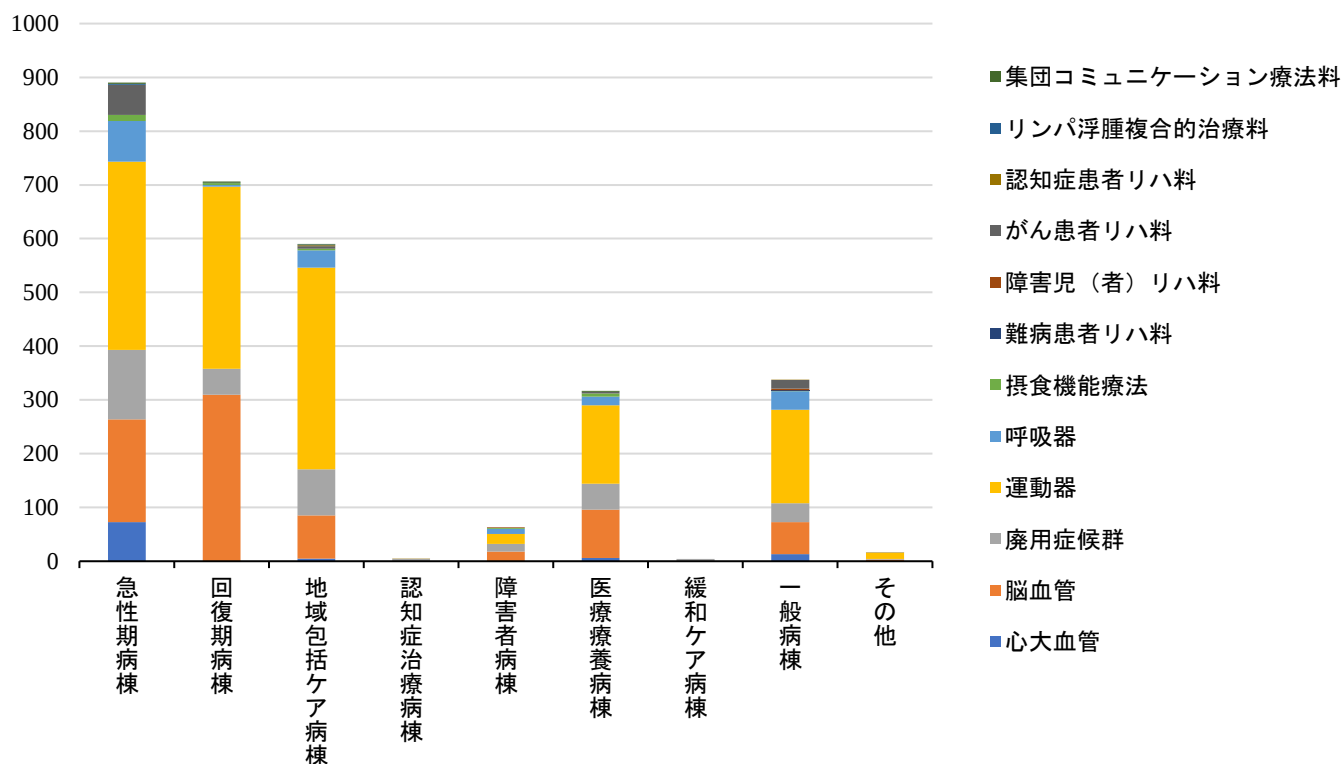
② 疾患名（1つ目） × 退院時の病棟 (n=2,860)

	急性期病棟	回復期病棟	地域包括ケア病棟	認知症治療病棟	障害者病棟	医療療養病棟	緩和ケア病棟	一般病棟	その他
結核	0	0	0	0	0	0	0	0	1
悪性新生物（部位不問）	68	4	18	0	3	8	3	20	0
良性新生物及びその他の新生物	2	1	0	0	0	1	0	0	0
貧血	3	0	1	0	0	2	0	1	0
その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	9	0	2	0	1	1	0	1	0
甲状腺障害	2	0	1	0	0	0	0	0	0
糖尿病	8	3	5	0	1	9	0	3	0
血管性及び詳細不明の認知症	4	0	4	1	0	2	0	1	0
精神作用物質使用による精神及び行動の障害	1	1	0	0	0	0	0	0	0
統合失調症、統合失調症性障害及び妄想性障害	1	0	0	1	0	0	0	0	0
気分[感情]障害（躁うつ病を含む）	1	0	1	0	0	2	0	2	2
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	1	0	0	0	1	0	0	0	0
精神遅滞	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心理的発達及び小児／青年期に通常発達する行動／情緒の障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の精神及び行動の障害	0	0	0	0	1	0	0	0	1
パーキンソン病	16	1	18	1	9	16	0	4	0
アルツハイマー病	2	0	4	1	0	3	0	4	2
てんかん	4	0	2	0	0	1	0	0	0
脳性まひ及びその他の麻痺性症候群	3	0	1	0	0	1	0	2	0
自律神経系の障害	0	0	0	0	0	2	0	0	0
その他の神経系の疾患	13	3	6	0	4	6	0	4	0
眼及び付属器官の疾患	0	1	0	0	0	0	0	0	0
耳及び乳様突起の疾患	1	0	0	0	0	0	0	0	0
高血圧性疾患	8	8	2	0	0	4	0	0	0
虚血性心疾患	39	3	6	0	2	5	0	7	0
その他の心疾患	35	0	14	0	2	11	0	11	1
脳血管疾患	129	276	57	1	2	68	0	49	3
その他の脳血管疾患	6	9	7	0	1	1	0	1	0
動脈硬化症	0	0	1	0	0	0	0	0	0
痔核	0	0	0	0	0	0	0	0	0
低血圧	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の循環器系の疾患	20	3	8	0	0	5	0	9	2
呼吸器疾患	109	20	43	0	12	29	0	45	1
消化器疾患	26	8	19	0	1	11	0	8	0
皮膚組織疾患	0	0	0	0	0	1	0	0	0
炎症性多発性関節障害	8	1	6	0	1	6	0	4	0
関節症	51	30	56	0	2	14	0	28	1
脊椎障害（脊椎症を含む）	48	34	39	0	4	16	0	26	1
椎間板障害	7	3	7	0	0	2	0	3	1
頸腕症候群	0	0	2	0	0	0	0	1	0
腰痛及び坐骨神経痛	7	2	12	0	1	6	0	9	0
その他の脊柱障害	7	8	12	0	0	2	0	5	2
肩の障害	14	0	10	0	0	1	0	3	0
骨の密度及び構造の障害	6	18	25	0	2	2	0	5	1
その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	39	16	37	0	3	6	1	18	0
泌尿・生殖器疾患	11	1	6	0	0	1	0	4	0
妊娠、分娩及び産褥	0	0	0	0	0	0	0	0	0
周産期に発生した病態	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心臓の先天奇形	0	0	0	0	0	0	0	1	0
その他の先天奇形、変形及び染色体異常	1	0	0	0	0	0	0	0	0
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	0	0	0	0	0	0	0	0	0
骨折	137	231	145	0	8	58	0	56	1
頭蓋内損傷及び内臓の損傷	6	8	0	0	0	1	0	0	0
熱湯及び腐食	0	1	1	0	0	0	0	0	0
中毒	1	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
虚弱老人	4	0	4	0	0	3	0	1	0

③ 疾患別リハ料 × 退院時の病棟 (n=2,918)

	急性期病棟	回復期病棟	地域包括ケア病棟	認知症治療病棟	障害者病棟	医療療養病棟	緩和ケア病棟	一般病棟	その他
1) 心大血管疾患リハビリテーション料	73	0	5	0	0	6	0	13	0
2) 脳血管疾患等リハビリテーション料	191	310	80	1	18	90	0	60	3
3) 廃用症候群リハビリテーション料	129	48	86	3	14	48	4	35	1
4) 運動器リハビリテーション料	350	339	375	0	19	146	0	174	12
5) 呼吸器リハビリテーション料	76	3	32	0	9	16	0	34	0
6) 摂食機能療法	11	3	3	0	2	6	0	1	0
7) 難病患者リハビリテーション料	0	0	0	0	0	0	0	1	0
8) 障害児（者）リハビリテーション料	0	0	0	0	1	0	0	3	0
9) がん患者リハビリテーション料	56	0	5	0	0	3	0	16	1
10) 認知症患者リハビリテーション料	0	0	2	1	0	0	0	1	0
11) リンパ浮腫複合的治療料	2	1	1	0	0	0	0	0	0
12) 集団コミュニケーション療法料	2	2	1	0	0	2	0	0	0

退院時病棟別 算定リハ料



④ 発症から退院した病棟への入棟までの日数 × 退院時の病棟 (n=2,352)

	回答数	平均	中央
1) 急性期病棟	640	53.6	0
2) 回復期病棟	657	27.2	22
3) 地域包括ケア病棟	493	67.1	14
4) 認知症治療病棟	5	174.2	71
5) 障害者病棟	52	207.9	9
6) 医療療養病棟	234	205.7	10.5
7) 緩和ケア病棟	4	151.8	46
8) 一般病棟	255	151.9	0
9) その他	12	238.0	44

⑤ 入棟からリハ開始までの日数 × 退院時の病棟

(n=2,918)

	平均	中央
1) 急性期病棟	3.2	0
2) 回復期病棟	0.5	0
3) 地域包括ケア病棟	1.8	0
4) 認知症治療病棟	2.2	1
5) 障害者病棟	3.9	1
6) 医療療養病棟	4.1	1
7) 緩和ケア病棟	4.3	0.5
8) 一般病棟	4.3	1
9) その他（具体的に）	6.1	1

⑥ リハ開始から退院までの日数

(n=2,918)

	平均	中央
1) 急性期病棟	28.7	18
2) 回復期病棟	72.6	65
3) 地域包括ケア病棟	36.4	34
4) 認知症治療病棟	91.4	89
5) 障害者病棟	93.8	50
6) 医療療養病棟	84.9	50.5
7) 緩和ケア病棟	23.5	19.5
8) 一般病棟	52.3	24
9) その他（具体的に）	50.3	36

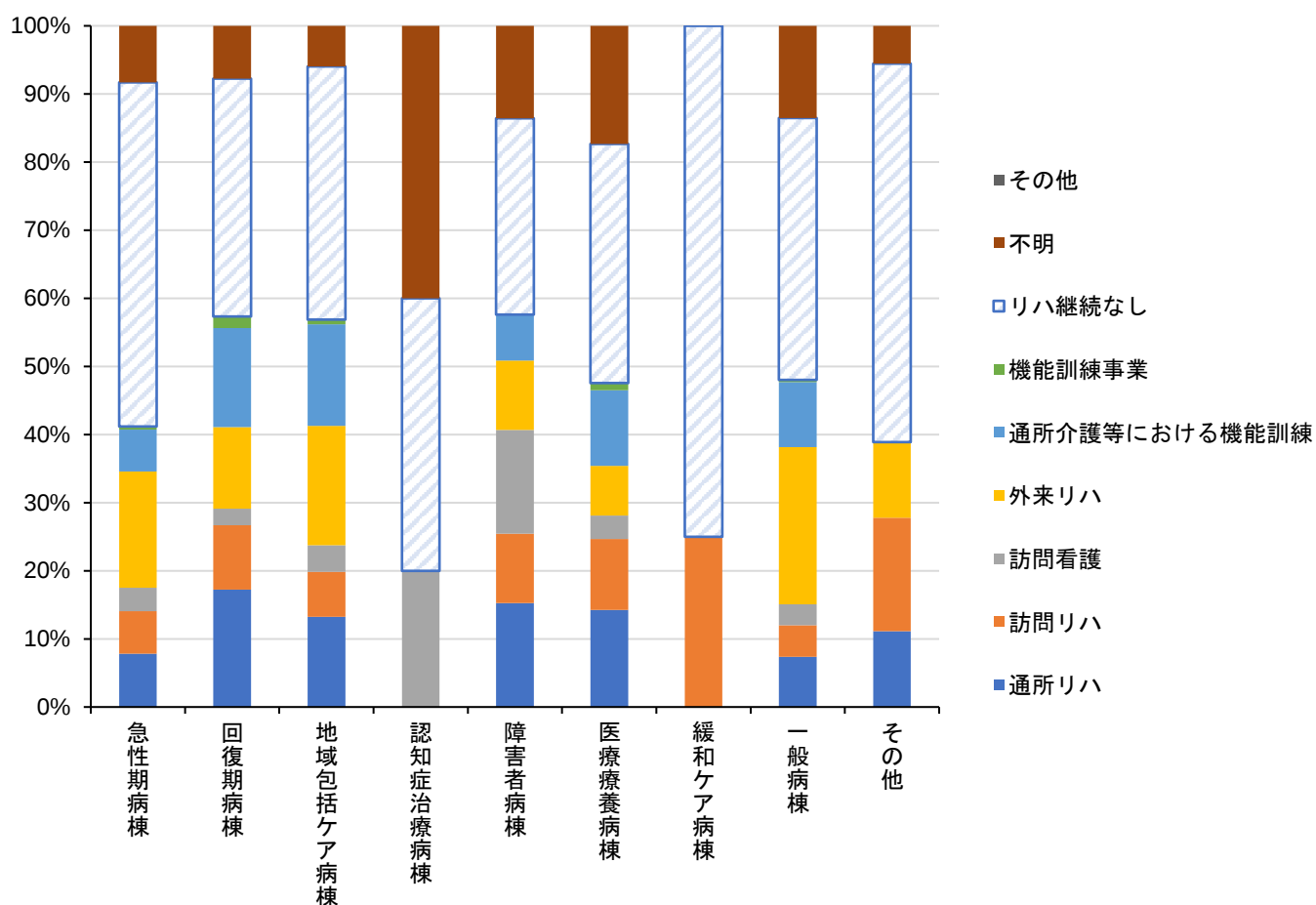
⑦ 転帰先 (n=2,854)

	1) 自宅	2) 介護施設等	3) その他
1) 急性期病棟	689	119	47
2) 回復期病棟	580	85	27
3) 地域包括ケア病棟	466	89	24
4) 認知症治療病棟	1	4	0
5) 障害者病棟	35	22	4
6) 医療療養病棟	162	123	17
7) 緩和ケア病棟	3	1	0
8) 一般病棟	246	73	11
9) その他（具体的に）	15	5	0

⑧ 退院後のリハの状況 (n=2,918 複数回答有)

	通所リハ	訪問リハ	訪問看護	外来リハ	機能訓練 通所介護等における	機能訓練事業 (障害福祉サービス)	リハ継続なし	不明
1) 急性期病棟	66	53	29	144	52	4	427	70
2) 回復期病棟	122	67	17	85	103	12	247	55
3) 地域包括ケア病棟	78	39	23	103	88	4	219	35
4) 認知症治療病棟	0	0	1	0	0	0	2	2
5) 障害者病棟	9	6	9	6	4	0	17	8
6) 医療療養病棟	41	30	10	21	32	3	101	50
7) 緩和ケア病棟	0	1	0	0	0	0	3	0
8) 一般病棟	24	15	10	75	31	1	125	44
9) その他（具体的に）	2	3	0	2	0	0	10	1

退院後のリハの状況（割合）



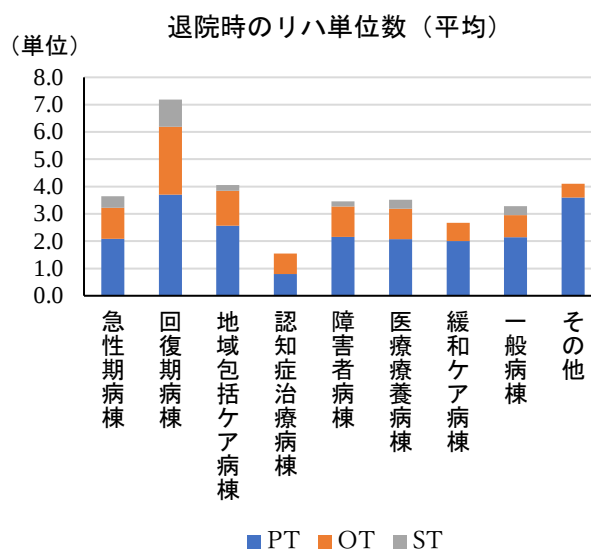
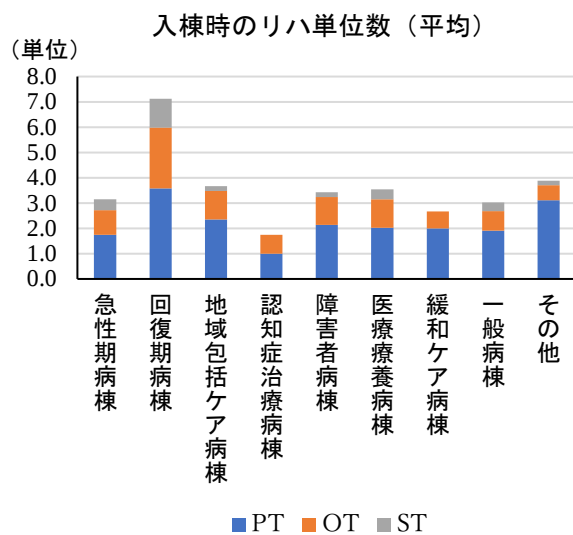
⑨ 計画等の作成状況

		急性期病棟	回復期病棟	地域包括ケア病棟	認知症治療病棟	障害者病棟	医療療養病棟	緩和ケア病棟	一般病棟	その他
リハビリテーション 実施計画の作成	1) 有り	400	347	266	4	29	153	1	156	8
	2) 無し	383	291	268	1	29	128	2	139	8
リハビリテーション総 合実施計画書の作成	1) 有り	712	681	457	3	46	210	1	262	15
	2) 無し	127	6	107	2	14	77	1	60	2
目標設定等支援管理 シートの作成	1) 有り	117	462	117	0	19	142	0	79	3
	2) 無し	637	203	409	5	40	144	2	219	11

⑩ リハビリテーションの提供量（単位）

(1) 入棟時	PT		OT		ST	
	平均	中央	平均	中央	平均	中央
1) 急性期病棟	1.7	2.0	1.0	1.0	0.4	0.0
2) 回復期病棟	3.6	3.0	2.4	3.0	1.1	0.0
3) 地域包括ケア病棟	2.4	2.0	1.1	1.0	0.2	0.0
4) 認知症治療病棟	1.0	1.0	0.8	0.0	0.0	0.0
5) 障害者病棟	2.1	2.0	1.1	1.0	0.2	0.0
6) 医療療養病棟	2.0	2.0	1.1	1.0	0.4	0.0
7) 緩和ケア病棟	2.0	2.0	0.7	0.0	0.0	0.0
8) 一般病棟	1.9	2.0	0.8	0.0	0.4	0.0
9) その他（具体的に）	3.1	2.0	0.6	0.0	0.2	0.0

(2) 退院時	PT		OT		ST	
	平均	中央	平均	中央	平均	中央
1) 急性期病棟	2.1	2.0	1.1	1.0	0.4	0.0
2) 回復期病棟	3.7	3.0	2.5	3.0	1.0	0.0
3) 地域包括ケア病棟	2.6	2.0	1.3	2.0	0.2	0.0
4) 認知症治療病棟	0.8	1.0	0.8	0.0	0.0	0.0
5) 障害者病棟	2.2	2.0	1.1	1.0	0.2	0.0
6) 医療療養病棟	2.1	2.0	1.1	1.0	0.3	0.0
7) 緩和ケア病棟	2.0	2.0	0.7	1.0	0.0	0.0
8) 一般病棟	2.1	2.0	0.8	0.0	0.3	0.0
9) その他（具体的に）	3.6	2.0	0.5	0.0	0.0	0.0



⑪ リハ内容（3つまで選択）

（1）開始時

	急性期病棟	回復期病棟	地域包括ケア病棟	認知症治療病棟	障害者病棟	医療療養病棟	緩和ケア病棟	一般病棟	その他
1) 関節可動域訓練	475	349	360	2	30	189	2	214	9
2) 筋力増強訓練	568	493	450	2	44	217	3	219	14
3) 筋緊張緩和マッサージ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4) 感覚・知覚訓練	21	29	14	0	2	5	0	12	0
5) 呼吸ケア・肺理学療法	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6) 摂食・嚥下訓練	62	51	16	1	7	15	0	15	2
7) コミュニケーション関連訓練	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8) 起居・移乗動作訓練	379	247	221	1	26	141	4	134	10
9) 屋内歩行訓練	358	408	328	5	29	129	2	128	10
10) 屋外歩行訓練	14	21	16	0	2	8	0	4	1
11) 食事動作訓練	11	18	9	0	0	4	0	2	0
12) 整容動作訓練	7	12	2	0	0	2	0	2	0
13) 更衣動作訓練	10	25	7	0	1	2	0	3	0
14) 排泄動作訓練	32	76	26	0	2	14	0	8	0
15) 入浴動作訓練	8	16	3	0	0	3	0	0	0
16) 家事動作訓練	2	10	3	0	0	0	0	6	0
17) 創作, 手工芸, 役割等の活動	1	4	3	0	1	8	0	1	0
18) 公共交通機関利用練習	0	1	0	0	0	0	0	1	0
19) 就労等社会参加支援	0	2	0	0	0	0	0	0	0
20) 認知、高次脳機能訓練	34	98	17	0	5	8	0	12	2
21) 補装具・福祉用具の選定、 適合、自助具作成	3	3	1	0	1	0	0	2	0
22) 家屋環境の調整	1	1	6	0	0	0	0	1	0
23) 住宅改修	0	0	1	0	0	0	0	0	0
24) 助言・指導	33	3	6	0	2	6	0	7	1
25) ケアマネ等との連携	0	1	0	0	0	0	0	1	0
26) その他	29	5	9	0	2	9	0	13	1

(2) 終了時

	急性期病棟	回復期病棟	地域包括ケア病棟	認知症治療病棟	障害者病棟	医療療養病棟	緩和ケア病棟	一般病棟	その他
1) 関節可動域訓練	317	142	218	1	24	126	1	157	8
2) 筋力増強訓練	556	350	385	3	37	199	2	207	15
3) 筋緊張緩和マッサージ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4) 感覚・知覚訓練	14	16	5	0	2	7	0	4	0
5) 呼吸ケア・肺理学療法	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6) 摂食・嚥下訓練	41	23	12	0	6	14	0	8	2
7) コミュニケーション関連訓練	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8) 起居・移乗動作訓練	201	94	119	1	13	95	2	83	4
9) 屋内歩行訓練	510	359	366	3	40	175	2	189	15
10) 屋外歩行訓練	141	282	130	2	11	39	0	56	1
11) 食事動作訓練	19	14	6	0	0	1	0	2	0
12) 整容動作訓練	9	10	9	0	0	5	0	3	0
13) 更衣動作訓練	19	31	13	0	1	3	0	6	0
14) 排泄動作訓練	43	55	37	1	1	22	0	9	0
15) 入浴動作訓練	52	88	38	0	1	8	0	13	0
16) 家事動作訓練	34	94	36	0	2	14	0	17	0
17) 創作, 手工芸, 役割等の活動	6	30	11	0	1	13	0	1	0
18) 公共交通機関利用練習	2	16	4	0	0	0	0	0	0
19) 就労等社会参加支援	7	18	0	0	0	0	0	1	0
20) 認知、高次脳機能訓練	41	110	24	0	6	10	0	12	2
21) 補装具・福祉用具の選定、 適合、自助具作成	7	15	11	0	2	9	0	4	0
22) 家屋環境の調整	21	61	44	0	3	7	1	9	0
23) 住宅改修	4	5	7	0	0	2	0	1	0
24) 助言・指導	92	59	57	0	5	28	1	26	1
25) ケアマネ等との連携	13	22	20	0	4	5	0	11	0
26) その他	52	16	19	0	1	9	1	15	1

⑫ 医療機関外でのリハビリテーションの実施

(1) 回数

* 未回答 326

回数	0 回	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回	6～10 回	11 回以上
実施回数計	2356	126	40	17	4	12	21	21
1) 急性期病棟	736	8	5	1	1	2	2	2
2) 回復期病棟	516	86	26	15	1	9	14	14
3) 地域包括ケア病棟	484	23	7	0	1	0	0	0
4) 認知症治療病棟	5	0	0	0	0	0	0	0
5) 障害者病棟	52	1	0	0	0	0	2	2
6) 医療療養病棟	272	4	1	1	1	0	0	0
7) 緩和ケア病棟	3	0	0	0	0	0	0	0
8) 一般病棟	272	4	1	0	0	1	3	3
9) その他	16	0	0	0	0	0	0	0

(2) 1 回あたり単位数

単位	1 単位	2 単位	3 単位	3 単位以上の対応
計	24	56	148	91
1) 急性期病棟	7	8	6	4
2) 回復期病棟	13	36	108	71
3) 地域包括ケア病棟	2	5	23	13
4) 認知症治療病棟	0	0	0	0
5) 障害者病棟	1	3	0	0
6) 医療療養病棟	1	2	3	0
7) 緩和ケア病棟	0	0	0	0
8) 一般病棟	0	2	8	3
9) その他（具体的に）	0	0	0	0

(3) 実施場所

実施場所	①自宅	②公共交通機関	③職場	④学校	⑤自動車教習所	⑥店舗
計	231	38	13	2	5	30
1) 急性期病棟	37	5	4	0	1	2
2) 回復期病棟	123	27	7	0	4	23
3) 地域包括ケア病棟	46	2	0	0	0	2
4) 認知症治療病棟	0	0	0	0	0	0
5) 障害者病棟	1	2	0	0	0	2
6) 医療療養病棟	9	1	2	2	0	0
7) 緩和ケア病棟	0	0	0	0	0	0
8) 一般病棟	11	1	0	0	0	1
9) その他（具体的に）	4	0	0	0	0	0

⑬ 入院時訪問指導加算

(1) 算定状況

1) 算定あり	69
2) 算定なし	603
3) リハビリテーション総合実施計画を作成していないため該当しない	7

(2) 訪問を実施した職種

1) 医師	2) 看護師	3) 理学療法士	4) 作業療法士	5) 言語聴覚士	6) その他
0	9	62	43	0	0

(3) 算定なしの場合の理由

1) 職員都合で入院日前7日以内または入院後7日以内の期間内に訪問が困難	275
2) 自宅等が遠方	36
3) 状態変化等あるため入院時の訪問は適切でないと判断（退院までの間に訪問は実施）	113
4) 退院先が決まっていなかった	79
5) その他（具体的に）	2

⑭ 退院時家屋調査

	1) 実施あり	2) 実施なし	3) 転帰先が施設のため実施していない
1) 急性期病棟	58	708	51
2) 回復期病棟	288	331	71
3) 地域包括ケア病棟	117	398	51
4) 認知症治療病棟	0	2	3
5) 障害者病棟	13	32	14
6) 医療療養病棟	54	161	80
7) 緩和ケア病棟	1	2	0
8) 一般病棟	41	246	37
9) その他（具体的に）	0	15	4

⑮ 退院時共同指導料 2 の算定

	1) あり	2) なし
1) 急性期病棟	14	802
2) 回復期病棟	12	671
3) 地域包括ケア病棟	14	546
4) 認知症治療病棟	0	5
5) 障害者病棟	0	59
6) 医療療養病棟	2	284
7) 緩和ケア病棟	0	3
8) 一般病棟	8	308
9) その他（具体的に）	0	18

2018 年度 日本リハビリテーション専門職団体協議会

**医療機関におけるリハビリテーションの実態調査
報告書**

発行 日本リハビリテーション専門職団体協議会

公益社団法人 日本理学療法士協会 URL: <http://www.japanpt.or.jp/>

一般社団法人 日本作業療法士協会 URL: <http://www.jaot.or.jp/>

一般社団法人 日本言語聴覚士協会 URL: <https://www.japanslht.or.jp/>

平成 31 (2019) 年 3 月発行